前號發賣禁止

THE SU SU ME

進め

戰鬪雜誌

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可

目次

第二年第三號

三月

インターナショナリズム……卷頭言
レニンの國家論に序す……片山潜
愚にもつかぬ話二三……前田河廣一郎
英國勞働黨內閣と國際政局……鈴木茂三郎
誠實に誠實を以て酬はす……小川未明
無產階級政黨と政變……島中雄三
教育者として感じた矛盾……新井友三
覺醒せる靑年の任務……羽生三七
日本勞働總同盟大會記……横石信一
組合葬にて感じた事……權藤誠子
米國共產黨樹立と內部のスパイ……田口運藏
組合葬に列して……福田すみ子
震災好景氣と其矛盾(下)……高橋龜吉
社會運動者と官憲の取締(二)……布施辰治
農民莊左衛門の刑死……RY生
編輯室より……

主幹 田口運藏

一部十錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進めパンフレットと坐談會

▼

ブルジュアーに大學がある。吾々プロレタリアートにはパンフレットがある。

進めはあく迄も戰鬪雜誌で理論雜誌ではない。又紙面にも制限があつて、書きたい事も充分に書けない。從つて纏つた研究用の記事が無いかも知れない。進めは研究に主を置くよりも階級鬪爭の第一線に立つて行く處に使命がある。

吾々の大學は、パンフレットである。ブルヂュアーのノラクラ息子共が、講堂で搾取の方法を習つてゐる間に、吾々プロレタリアートは工場の休み時間に、耕作場の一ブクの時間に、セツセと奴等をヤツツケルために智識を研かねばならぬ。此の大學で吾々は理論を得て、彼等と戰ふ準備をせねばならぬ。

進めはいまだ社會主義の何であるかも知れない人達に宣傳するのに、或は不便があるかも知れない。又、月が過ると所謂「古雜誌」と云つた調子で切角貰つても、棚の角へでも投げやつて置く人があるかも知れない。

パンフレットは、大さや形から云つても宣傳用には持つて來いだ。パンフレットは二ケ月や三ケ月で月後れにはならぬ。

進めは戰鬪雜誌でプロレタリアートの常食である。吾々はこの常食に、滋養物としてパンフレットを加へねばならない。この二つはプロレタリアートの武器として缺す事は出來ない。

進めパンフレットは八月から始める予定であつたが、地震のゴタ〱で延び〱になつたが今度は確實にものになつて、三月二十五日迄にその第一を出す。定價は安いのが進め社の特徴で十錢。

▼

進め社はさきに政治運動研究會組織する計劃であつたが、何ろし目下の處人手が足りないし又會員も地理的に便利の惡い關係もあつてどうも工合が惡い。それに細胞等と云ふ事も一寸實現が六ケしい事だから、しばらく中止にする。切角申込んだ人達には甚に濟ないが、御了承願たい。

進め社はそのかわり、もつと手つ取り早く實現出來る地方の坐談會にまきを置く。五人でも六人でもよい。同志が集つて坐談の中に研究するもよい。色々戰術を考へ出すのもよい。政治運動の研究は尙更よい。さうして、地方の運動統一計つて貰ひたい。

又、そのために講師と云つた樣なものが必要なれば、進め社から人を送る。其他運動上援助が必要とあれば、喜んで應じます。又種々な相談にも應ずる。

尙、講演會や講習會もドシ〱やつて見たい。地方で會場都合をつけてくれゝば、人は都合する。一ツやらうと云ふ方は一應期日や講士の都合を問合せて下さい。此點は、地方の同志諸君の奮力を望む。

大阪市北區西野田大開町

進め社

支局募集

本社は一週年紀念として、全國各地に支局を募集した。續々申込みがあつた。尙、今後も左の樣な希望の下に募集します。

一、運動上に本社と步調を合せて、其の地方の運動の中心になつてくれる事。

一、數人同志が出來たら、時々座談會等を開いて、色々運動上のことの研究をし、又本社と連絡をとること。

一、雜誌の販路を大に擴めて貰ふ事。

一、代金は成る可く速に本社の會計部に送附下さる事。希望の人は本社會計係へ至急申込んで下さい。

進め社

進め社支局

（一）

東京市赤阪區檜坂町四　東京本部

大分縣中津町字新町　白石重雄

宮城縣古川南町六七　森源吉

岐阜縣小瀬生町　水野佐伯

千葉市千葉寺　秋元清一郎

香川縣丸亀市西手山町一一二　亀井敬二郎

島根縣簸川郡久多美村字東福　島根支局（山根積）

北海道虻田郡倶知安町北八　山名正實

栃木縣河内郡大澤村　福田眞一

名古屋市東區高澤町二丁目　赤尾敏（東海本部）

山形縣東置賜郡糠目局區内　小出黎一

廣島市宇品町御幸通り十六丁目　吉田昌晴

岡山縣川上郡成羽町上日谷　難波孝夫

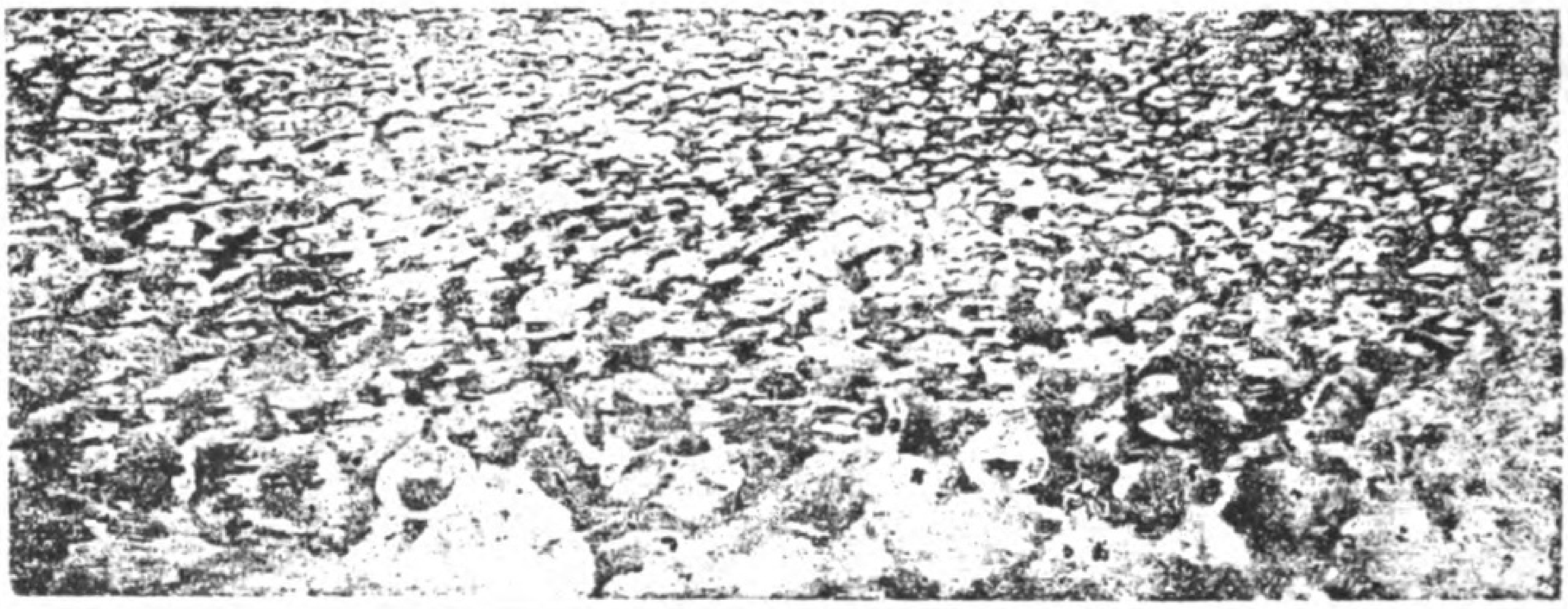
岩手縣一關町八幡街　三浦聡平

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰鬪雜誌

進め

第二年第三號
大正十三年三月



◈萬國の勞働者團結せよ◈

國際主義

勞働運動並びに社會主義運動の終極の使命はインターナショナリズムに基いてのみ解決し得る。吾等が尊敬する先輩マルクス及びエンゲルスが、その共著『共産黨宣言』に於いて『世界の勞働者團結せよ』と絶叫せるも、こはプロレタリアートの解放の可能的方法を明示したに外ならない。由來世界の社會運動はその主意に沿ふてインターナショナル（國際同盟）の名に於いて發達して來た。

然るにヨロッパの社會運動が擴大するにつれてベルンスタインの修正主義に毒せられカウツキーの日和見主義に混惑せられて諸國の社會黨の主動勢力は遂に其革命的眞髓のインターナショナリズムより離れて悲憤康慨的の愛國主張に移つたのである。果せる哉一九一四の歐洲大戰亂の勃發するや彼等列國の社會黨の首領等は夫々『祖國のために』と云ふ標語のもとにプロレタリアートの解放運動の使命を裏切るのみか自國のブルジユアジーの利益を擁護するが如き矛盾を敢て演じたのである。そして第二回國際同盟は事實上の破産を招き、世界の勞働運動並びに社會主義運動は、政治的にも、道義的にも全く、爲に頓挫したのである。此歴史的大事實より見ても、漫然たる階級爭鬪説を把持せるからとてインターナショナリズムの理論的意識の薄弱なる者はプロレタリアーの前衛として甚だいぶかしいと言はねばならない

吾等は日本島の 同志のうちにも事にふれ折にふれて、この恐るべき排他的の氣分と民族的主張の誤謬とが潜在するかを怖る。勿論インターナショナリズムの充分なる意識を得る事は最も困難なるものゝ一つである。特に日本の樣な地理的位置に生存し、とらはれた傳統的精神に敎養された吾等は、その至難の業たる事を感ずるのである。とは云へ、プロレタリアートの解放運動の意義を解するものは、つとめてインターナショナリズムの基準のもとに於いてのみ、その主張と行動とを決定すべきである。そしてこれがマルキストの第一の訓練であらねばならぬ。

吾等は玆に其好例を知る。一九二〇の秋勞農ロシアの赤衛軍は『ワルソーのブルジュア政府の陥落はドイツの社會革命なり』と云ふ標語のもとにポーランドへ侵入したのであつた。其際ロシア共産黨の或る機關紙は　ロシアの民心を鼓舞激勵するためにはやまつて『ワルソーを占領せよ、ポーランド人を打て』と云ふ慷慨的論調をもつて排他的主張を無意識のまゝになしたのであつた。この事あるや、ロシア共産黨は勿論の事、總てのロシアプロレタリアートは、この論文は確にインターナショナリズムを裏切り、吾等の革命の主旨にそむくものであるとして、責任者たる、主筆を、その位置から放逐し、同時に罪したのであつた。此意氣と訓練とがあればこそ　苦境にありながらもロシア革命が成功したのである實に、勞働運動並に社會運動の終極の目的は　プロレタリアートのインターナショナリズムの實現に外ならない。（日口運藏）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

レーニンの著書國家論に序す

片山潜

カール・マルクスが彼の『資本論を梓に上すや、歐羅巴のブルジョア經濟學者共はあらゆる種類の敵意ある批評をそれに浴びせたものだ。だが、彼等も心中は密かに、彼等の信奉する學說にとつての大きな障害物が出現したが恐怖の念を懷かざるを得なかつた。だから事實、彼等は最早リカルドやミルのやうに堅い信念と權威を以つて彼等の經濟的理論を押進めて行くことが出來なくなつた。といふのはマルクスの『資本論』が彼等の從來の信念や堅信を粉微塵に打ち碎いたからであつた。幾多の批評が幾多のブルジョア經濟學者によつて書かれたが、どれもがマルクスの『資本論』を理解した論據の上に立つものではなかつた。それらは凡て、イソツプ物語の中に出て來る『盲人の象のあていつこ』といつたやうなものであつた。

マルクスの『資本論』は、十九世紀に著はされた本の中での偉大なるものだ、そして未だにその偉大さを保有してゐる。特に、その偉大さが一九一四――一八年の大戰と、露西亞のボルシエヴィキ革命の經驗に依つて一層判つきりさせられたことは事實だ。

マルクス學者として且つマルクス主義の實行者としての第一人者、同志ニコライ・レーニンは、ボルシエヴィキ革命の最初からの指導者だが、彼は恰度この革命の間際に國家と革命を書いてゐる。此本はマルクスの『資本論』以來のいゝ本だ。その世界の無產階級に與へた理論的若くは實際的の價値の點ではむしろ資本論以上だとも云へる此本で、社會革命と國家――ブルジョア國家及びプロレタリア國家の双方に對する概念を暸つきりさせたレーニンの功績はマルクスやエンゲル以上だからだ。

『國家と革命』に於て、レーニンは第二インターナショナルの理論的立場を摘發して粉碎しそしてその指導者達の日和見主義とペチイ、ブルジョア主義に陷したことを指摘して、彼等をマルクス主義及び無產階級の正義に對する裏切者であると辱かしめてゐる。また第三インターナショナルが實現されたのは一九一九年だが、レーニンは此本の中で既にその强固な基礎を据ゑてあつた。此本は、實に世界の社會革命運動にとつてのガイディング、スターとでも云ふべきものだ。露西亞のボルシエヴィキ革命を、レーニンは謙遜して、マルクス流の革命的共產主義の適用であり實行であると云つてゐるが、私に云はすればそれは此本にある理論を正しく適用した結果だ。恰度、マルクスの『資本論』が剩餘價値の上に成立つブルジョア社會の經濟的構造に關する批評であるやうに同志レーニンの『國家と革命』は、ブルジョア國家とその資本家的機能に關する致命的の批評だ。

此本はレーニンが露西亞革命の個人的經驗をもつてゐたし又近世資本主義の智識をもつてゐたので、自然、無產階級の獨裁に就てはマルクスやエンチルスが書いたよりも說明なり解說が行屆いてゐる。彼の資本家國家に對する批評と分析は、實に外科醫のメスのやうに銳くて決定的だ。そして無產階級革命によつて國家が打破されること、それには無產階級の獨裁か打建てられねばならないこと、かくて最後に資本家階級を驅除することは、不可避的だといふことを一目瞭然たらしめてゐる。

レーニンは、此本の中で社會革命を仕遂げるには無產階級の獨裁を打建てることが絕對に必要であることを强調し乍ら、ブルジョア國家の本當の性質と機能とそれから無產階級に對するその獨裁振りを示してゐる。ブルジョア國家とプロレタリア國家の判つきりたしかも間違ひのない概念を與へそしてそれを打破することの絕對必要を敎へてゐる。なほ社會主義と無政府主義との關係を取扱ひ、そして無政府主義者のブルジョア國家と無產階級革命に就ての誤れる概念を指摘してゐる。無政府主義者の革命及國家に關する理論に對して彼か加へた痛烈な批評は、露西亞ボルシエヴィキ革命の生々しい實例と實際の發展とによつて、今や完全に證明せられた。卽ち多くの氣の判つた無政府主義者は、ボルシエヴィキ革命こその實際政策の影響の下に立つこと、なつた。

かくして同志レーニンの『國家と革命』は、今や勞農露西亞の社會革命の生きた記念碑となり、同時に、ブルジョア國家と資本主義にとつては死を保障するものとなつてゐる。（完）

「この文章は片山潛氏が一九二一年六月五日メキシコ市に於て、メキシコ共產黨員の求めに應じてレニンの著書『國家と革命』のスペイン譯の序文として書かれたものであつた。片山氏は多くの社會主義の理論書を讀んだ内にレニンのこの著書程にインスパイアーされたものはないと常々云ふてあつた。前年ニューヨーク市に於いて片山氏はこの著書を日本文に譯されて出刊するばかりになつてあつたが、或る友人がそれを失ふて今では其行先が不明である。（記者）」

時局

英國勞働黨内閣と國際政局

鈴木茂三郎

（一）

英國に於ける勞働黨内閣の出現に對する、各國の觀覧席から起つた恐怖と歡喜の動搖ぶり位滑稽なものはあるまい。英國のブルジョアジーは勞働黨内閣諸公の主張と手腕に信頼を抱き、安心し切つてゐるのに、舞臺の英國がそれであるのに、各國の觀客は泣いたり笑つたり見つともないざまである。

が觀客にすれば英國傳統の穩見的手段によつて明日にでも勞働黨の理想社會が更生されるかの如くに、江川の玉乗りを見物するつもりで、轉かり込んでくるかの如くに、一圖に考へ及ぶことも無理のないことである。蓋し勞働黨の理想社會とは一九一八年に宣言した『勞働と新社會秩序』に云ふ『我等が建設せんとする新社會秩序は協同の新社會である、一切の冗費、不能率を除去する產業の社會化、各人が最善をなす生產のための公正なる決定、勞働に對する科學と智識の應用　社會政治產業組織の改良、眞の需要に應じ且つ必要とする國民資源の統制』と云ふ理想社會を空に描いてゐるがしかし觀客席は靜まるが好い。何れも安心するが好い。

それは表看板だけの事であつて役者のせりふを聞くと吾がヘンダーソン氏は、ブルジョア、デモクラシイの信奉者でありバーンス氏は逸り起つ組合指導者の袖を控へてブルジョアとの協同調和正義公平を說いて已まない。クラインス氏になると勞働階級最後の勝利は決して鬪爭によつて得らる可きでは無い。と、彼れに云はせると勞働者が階級鬪爭の忌むべき手段に訴へることは憐れむべき無智に據ることゝして、訓戒を怠らなかつた其れはこ、勞働貴族諸公に率ひらるゝ勞働黨内閣は英國のブルジョアジーが信頼し安心するほど、絶對安全である。

『勞働黨の滿足せんとするところは、その望む建造物を築き上げんがために、一つ〳〵煉瓦を積みあげることである』と新社會秩序の宣言に云ふ。そして勞働黨内閣の出現は、彼等にすれば先づ煉瓦を一とつ積んだつもりではあらふ。と云ふところが英國のブルジョアジーから彼等の信任を博した所以である。か、然るに觀客席の一隅から唯一つの違つた掛聲が上つた。マクドナルド氏が靜かに登壇すると、勞農ロシアのカーメネフ氏が先づ啖呵つた。ソウエート聯邦會議に於てカーメネフ氏は勞働黨内閣の性體を喝破して『吾々は英國勞働黨の政綱をよく知悉するが故に、敢て買ひかむるやうな事は無い。マクドナルド氏が英國民の信任を贏ち得たことは勞農政府の無條件承認の標語である。吾々は無條件承認の手形の發行を期待するものである』と浴びせかけたのである。そこで之れまで私が述べたことをカーメネフ氏に從つて言ひ換ゐるなら、觀客諸君、勞働黨内閣を買ひかむるな、といふことになる。

（二）

買ひ冠らないやうに、しかし少しばかり買ひ冠つて見物しても勞働黨内閣の内政問題は失敗に終るだらふ。煉瓦の一とつも積み得ないであらふが、こゝにはそれは云はないことにする。たゞ勞働黨内閣の出現に何程かの意見を求めるなら、行き詰つた國際政局に新生命を吹き込むことである。

カーメネフ氏が期待した『勞農ロシアの無條件完全なる承認』の手形を即時發行したことによる即ちロシア承認問題を基調とする國際政局の打開である。

英國の對露承認は有體に云へば勞働黨内閣だから承認したと云ふ譯ではない。マクドナルド氏の胸を叩ひたなら或は承認したく無かつたかも知れないが、勞農ロシアの承認は同時に英國勞働者の信認を意味するといふことになる。承認しなければ自國多數の信認を贏ち得ないと云ふことになる。

さうして其れと同時に英國のブルジョアに採つては、又ブルジョアと協同調和聯合の美的關係に在る勞働内閣にとつては、承認せざるを得ないところの他に二たつの理由があつたのである。

一、選擧の題目となつた失業者救濟のための保護關稅問題にして、ボールドウィンとマクドナルドの論戰に持ち出された失業者調べによると輸出產業が最も多數であつた。

事業別	失業者數
機械製造業	一六二、八一〇人
造船事業	一一七、七七八
綿製品	一一五、八七九
貨物運送	七七、八九五
雜纖維業	六五、四三二
運河	四九、五〇七
炭坑業	三八、九三一
鐵道運輸	三八、〇〇三
建築業	三四、八九二
政府事業	三四、五四九
羊毛製品	三〇、一五九

（一九二三年九月末）

機械工業、炭坑、一切の纖維工業はいづれも主要輸出產業であり、造船、鐵道　貨物運送に於て失業者の多いことも荷動きの少い貿易不振の結果である。

そこで勞働黨の政綱とする失業者救濟の出來さうも無い看板の題目などより、失業者救

濟にしてはそれほど効き眼はあるまいが、ブルジョアジーが崩れかゝつた陣形を立て直すために、卽ち産業の復興、といふことは海外市場の開拓に外ならないが、それを絶對に必要とする。そして閉ざされてゐるロシア市場との完全なる通商を除ひては、他に何時にも求め難いのである。

二、他のもう一との理由は歐洲政局の不安定、勢力の不均衡を安定し、均衡ならしめるためのロシア承認である。歐亞に跨るロシアの一大勢力を、除外したことの失敗は、英國勞働黨の諸公をまたなくとも、歐洲大陸の國際政局の紛糾の上に示されてゐるが、たま／＼行きがかりの無い勞働黨内閣が、國際政局の舞臺面へ勞農ロシアを引つ張り出さうとの筋書を踏んだまでのことで、勞農ロシアの承認はかゝる役割をふりあてることの前提となるものである。左樣に英國にとつて勞農ロシア承認の絶對的必要なる理由は他の諸國に於ても同樣であり、米國のみは少し事情は異るとは云へ、それにしてもいつまでも默つては居られまいが、怜悧な伊太利、ノルウエーは渡りに船で英國の後を追つかけ、殘るは東西の帝國主義の榮光に輝く佛國と日本（支那と歐洲の二、三の小國は問題にもならない）とのみである。

プリンキポ會議からカンヌ、ゼノア、ヘーグと持ち歩いた露國承認は、かくて大團圓の幕を下さうとしてゐる。やがて開かれる英露會議─舊債承認、財産權の確認、英國領土の赤化宣傳─か双方に交換された文書の如く「友誼的關係」に於て成熟するはもはや疑ひなく、對露借欵の如きは聯合國の不當出兵と棒引になることも、もはや明白である。

と云ふ形勢が押し迫つて來たとき、ひとり日本はいつまでも喉を鳴らせて啖呵を切つては居られまい。早く手を出さないと幕切れの引つ込めがつかなくなり、レニンの云つた承認が遲れるものはそれだけ不利なる條件に、押し倒されるの餘儀なきに至らざるを得まいのである。

（三）

然し乍ら勞働黨内閣のロシア承認が、そしてそれが他國の承認を促したにしても、直に國際政局を打開することにはならない

前にも云つたやうにロシア、そしてドイツを除外した事が、國際政局の不安定、不均衡を招いたのであるから、新興勢力を加へて國際聯盟を改造する必要があるが、元來勞働黨は國際聯盟の信徒であつて、聯盟成立の當初次の樣にいかに聯盟に忠實であるかを鮮明にしたのである

「勞働黨は帝國主義と共に非國際主義を排斥する、そして自由民の國際的聯盟の支持を主張する、秘密外交や國際聯盟に反する聯盟の設立には反對するものである」

そして此主張は今もかはりが無い。マクドナルド氏が議會で述べた施政方針に於ても、國際聯盟の權限をより擴大し、一層代表的性質を持たしめたいとの改造意見を吐露しロシアと獨逸の加盟せんことを希望したのであるが、日本の新聞から鮮かな交外振と讃辭を送られた如く、ロシアの外務委員長チチエリン氏はマクドナルド氏に聯盟加入の意志を申し送つたのである。

しかしロシアが加盟を提議したからとて、もとより國際聯盟に歸依した譯ではない。英國勞働貴族の内閣のやうに國際聯盟が國際政局を安定し世界の平和を確保する萬能藥だとは思はないそしてそれがブルジョア帝國主義の爪牙を磨く砥石だとの見解は、勞働黨内閣が今日に於ても國際聯盟の信者であることに變り無いと同じやうに變りないであらうが、勞農ロシアの加盟する所以は英、獨を兩翼としてブルジョア國家の反動的勢力、帝國主義の擡頭を叩きのめすことにある。從つてかゝることから行き詰りの國際政局の打開が行はれるのであるが、どう打開されるかは英、獨がどの程度にまで勞農ロシアの兩翼となり得るかにもよつて違つてくる事であるが、しかしあまり勞働黨内閣を買冠ることは止めて置ふ。

無產階級政黨と政變

島中雄三

（一）

山本内閣の蹉躓によつて普選大降りの豫想は煙になつた。普選熱によつて煽られた形のある無産階級政黨組織の問題も、したがつてやゝ下火となつた。けれども實をいへば、山本内閣かたとひあのやうな蹉躓をしなくても、普選の卽時斷行が實現しようとは思はれない形勢にあつたのは事實である。また清浦内閣にしても、普選の問題をまるで度外においては政權を維持し得られる筈はない。要するに誰が内閣を組織しても、普選の問題は或る程度まで解決しなければ事實上政治を行ふことができなくなつてゐるのである。それほどに政界の現狀が行き詰つてゐるのである。尤も憲政會や革新俱樂部が普選を主張する根本の理由は、これによつて政友會の絶對多數を打破するより外、黨勢挽回の途が無かつたからではある。そして今や政友會は、自己の餘りに尨大なる勢力によつて動きがとれなくなり、その結果、自ら分裂して、憲政會や

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

革新俱樂部の年來の宿願は期せずして叶つたわけである。そこで普選を主張した目的の大半はこの政友會の分裂によつてほゞ達せられた形である、今となつては、最早普選　力瘤を入れる必要はないと考へてゐるかも知れない。けれどもたとひ政策にもせよ氣まぐれにもせよ、一旦麗々しく掲げた看板を今更引ッ込めることは、政黨としての面目上出來るわけのものではないまたそれを引ッ込めたとあつては、いくら無自覺な民衆でも彼等をそのまゝに生かして置く筈はない。どうでも行懸かり上、彼等は普選の看板を掲けて戰はなければならない。政友會といへども、政友本黨といへども、今日となつては強いて反對するだけの勇氣はない。して見れば政黨も政府も、ひとしく普選には贊成と云ふ形である。要は獨立の生計とか何とか、一二の條件を加へるか加へぬかの相違に止まる。

無産階級政黨組織の問題は、無産階級運動それ自身の進展に伴ひ生起した問題であつて、必ずしも普選の實施と否とによつて明滅するものではない。しかしながら、理論上は兎も角、實際に無産階級政黨の組織とその活動とが可能であるためには、普選の實施は絶對に必要なる條件である。もし普選の實施がこゝ三十年五十年見込みなき狀態にあるとしたなら、無産階級政黨の問題は要するに机上の問題である。少くとも今日一般に豫想されてゐる如き種類の政黨とは、可なり質のちがつた政黨の問題でなくてはならぬ。從つて我々が、今日その出現を豫想し且つ進んで之れが組織に參與せんとする種類の無産階級政黨は遲かれ早かれ普選の實施は可能であるとの豫想のもとに、否近き將來のうちに必ず實現すべしとの確信のもとに繋がるものであつて、普選の形勢と何等關係なくして行はるゝ机上の論議ではないのである。

（二）

首相清浦の言として傳ふるところによれば總選擧後の特別議會において政府は普選案（獨立の生計を條件とする）を提出する意向であるとのことである。しかしながらその前に當つて、恐らく現内閣は總辭職を餘儀なくせらるゝであらう。そして次に組織せらるゝ内閣が如何なる種類の内閣であるかは、今豫想することが出來ないが、もし護憲三派の提携にして或る程度まで成立するとせば、刻下の狀態より推して、或は此の三派聯立の内閣が出來ないとも限らぬ。果してその如く推移するか否かは容易に彼等の樂觀を許さない事情はあるが、いづれにしても次期の總選擧までには、普選案が通過するものと見て間違ひない。そしてその總選擧は、遲ければ四年、早ければ二年以内に行はる、とすれば、普選擧の問題は要するに二年乃至四年の問題であるといはなければならぬ。

私は、四年は少し長過ぎると思ふ。が、それかといつて普選促進の運動を、無産階級の前衛によつて起すことは、タクチックの上から果して何うであらうか。此の點は尚ほ一層の考慮を要する。私の見るところでは、議會は一二年後に於て再び解散せらるゝであらう。その理由は今暫く公言することを差し控へるが、兎に角次の總選擧は思つたより早く來るであらう。もし此の豫想にして事實となるならば、我が無産階級政黨が十二分に活動し得るのは正に此の時である。之を假りに二年後とすれば、こゝ二年餘りの歲月は我々をしてその準備と組織と訓練とに十分の力を割かしめることできる。もし普選が斷行せられたにかゝはらず、これに策應すべき何等の組織も準備も我が無産階級になかつたなら、その結果は徒らに、ブルジョア既成政黨のためにその陣營を攪亂せらるゝのみに終るであらう。山本内閣の蹉跌は、觀方によつては或は我々に幸ひしたかも知れぬ。

序ながら言つておく。今日において組織せらるべき無産階級政黨は、農民、工業勞働者、プチ、ブルジョア智識分子、其他一切の無産階級的利害に一致し得る全大衆を包括した、可なり漠然とした意味の無産政黨であつて、勞働黨或は勞農黨といふよりは、むしろ民衆黨と呼ぶにふさはしかるべき性質のものでなくてはならぬ、それは無産階級意識によつて統一せられたものではなくして、無産階級意識の鮮明なる少數前衛によつて、行く〳〵コントロールし得る程度を程度として滿足したものでなければならぬ。思惑的潔癖に隱れて進んで濁流に棹さすことをなし得ざるブルジョア・パシフィズムの亞流は、こゝ暫く口をつぐんで大勢の赴くところを傍觀せよ。斷じて政黨のことを語るなかれ。

少くとも、プロレタリアの政黨を云々するものにして、机上の空論に耽け、何にがよい彼れがよいと云ふて居る場合ではない如何に徹底した議論を持つてゐても、世界の潮流と、日本の社會狀態を明確に知察し、これに適合する策戰に出でないならば結局は空語に過ぎない。機會は吾の來るのいつまでも待つてはゐない。

プロレタリアートの前衛がコントロールし得る程度の政黨樹立こそ當面の急務でなくてなんであらう。この平易な事柄を無理に六ヶ敷く理論化して、そして何等實行に進み出ぬ者こそプロレタリアーの政治運動など論ずる資格はないのだ。（一月十日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英國勞働黨の組閣とその政綱

一

英國の勞働黨は、昨年暮の總選擧に在野黨の第一位置を占め、キアスチング・ヴォートたる自由黨をその政綱を以て引付多數黨たる保守黨を向ふに廻して兎に角最初の勞働黨內閣を組織したのである。

ではあるが、勞働黨は下院に於ける絶對多數を占たと云ふのでなく。自由黨の希望を尊重しないでは何等の政策も實行しかぬる樣なハメにあつて、勞働黨の常々の主張の最少限度を政綱を擧げてゐる勿論、もしかりに勞働黨が下院に於ける絶對多數を擁すると云ふたところで、最大限度の勞働政治を布くことはとても望まれない。まして凡てのブルジョアから政權の剝掠し總ての產業を社會的に組合化し資本家から總ての資本を沒收すると云ふ事は夢にだも思はれない。これ等の仕業はブルジョア議會のデモクラシー!の進步と云ふ方法のみではとても、遂行され得るものでないと云ふ事位は、マルクスに依らずともレニンを學ばずとも英國のブルジュアジーの大部分は熟知のことである。これは勞働黨內閣の出現に際して英國のブルジュアジーが少しも恐慌の色も示さず、保守黨の機關新聞紙までが好意的態度を示してゐる事實が最もよく物語つてゐる。

さりとは云へ、勞働黨內閣の出現は吾等プロレタリアートの解放運動者に取つては、最も重大なるものゝ一つである。それは、これによりて直接にプロレタリアーの終極の使命が果さるゝことを豫期すると云ふのではなくて、反動的雰圍氣を突破して勞働黨內閣の出現を前提としてプロレタリアートの勝利の途への動機ともなり得るからである。換言すれば、プロレタリアートの議會政治での勝利は、やがて來るべき決定的階級戰に於いて最も有利なる地位を占むることになるからである。英國のすべての歷史的政治的環境がその可能性を多量に有してゐるのである。英國では軍國主義も官僚主義も獨裁的優勢の位置にあがつたことはなかつたのである。イギリスにはデモクラシーの進步に沿ふて割合に純なる資本主義が、こゝに發達し得たのである。これ等の條件のもとに、マルクスがかつて『英國は他のヨーロッパ大陸の諸國と異り、或は、デモクラシーで社會主義制度の到來が可能かも知れない』と語つたのであつた……(然しながらマルクスの時代に於ける英國の資本主義は未だ帝國主義の階級まで發達せず、常備軍の如き國家機關のあまりに必要とせぬ頃のものであつた)

以上の點を日本のそれと比較するならば何等の類似點を見い出さない。

然しながら英國の勞働黨がいかなる政綱を擧げてその勢力擴張を計つたかを知るは、吾等に取りて決して無益のことではあるまい。

二

勞働黨の總選擧當時の政綱を見るに先づ外交問題を論じて『擴大された國際聯盟に依る國際的協力、仲裁に依る爭議解決、ドイツを含む國際的會議に依るヴェルサイユ條約の改正、ロシアとの自由交通の再開』を提唱し、保護關稅と云ふ經濟的帝國主義政策に就いては『保護關稅は何等失業の救濟とならず』となし、關稅に依つて促進せられた、世界の富の不平等なる分配の廢止を發明し、失業問題に就いては其根本原則として、失業は通商政策の如何に拘はらず現在の資本主義制度の必然の結果に依り、職業を與ふるか然らざれば扶養すべし。

と主張して、當面の失業解決策としては、全國的事業計畫、例へば電力供給の全國的制度、交通運輸の發展、排水事業、土地整理、殖林、都市計畫及び住宅計畫の實行を提案し又農村に於ける小作人及び小地主のためには

(一)最低賃銀制の設定

(二)金融を容易にし、且つ保險の道を開くこと

(三)農產物の生產及び販賣に關する產業組合の獎勵

を提唱し又一般社會問題に關しては

(一)勞働者に對する保護及び報酬の增進

(二)兒童教育の機會均等、寡婦、老人病人及び不具者に對する懇篤なる施設、住宅及び飮酒の改善

(三)男女の政治的及び法律的同權並に同一仕事に對する同一報酬

を主張してゐる。

然しながら勞働黨の政綱の本領はこれ等ではない。これ等は全くの社會政策であつて、自由黨すらが、自由黨の政綱の借り物であると呼んでゐる。然らば勞働黨の本領とは何か?それは

(一)戰事負債償還の爲め五千磅以上の資產を有する總ての者に對して累進的の資本稅を課すること

(二)土地に於ける奪はれた民衆の權利を恢復すること

(三)鑛山鐵道及び發電所の國有及び市町村事業の發展

等である。これ等は確かに國家社會主義(國家資本主義)の主張であつて自由黨並に保守黨からの共同反對を蒙る點なのである。であるから勞働黨の總理マクドナールドは、自由黨との提携するの必要にせまられて資本課稅の主張は吾等は敢て固執するものにあらずと天下に明聲したのである。(田口運藏)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

職業上より見たる資本主義制度の矛盾

愚にもつかぬ話二三

前田河廣一郎

T兄

隨分ごりやうによつてへんな課題だな、が思ひついた節もあるから、少し書かして貰はうか

僕もとうとう君などにも「文士」に片づけられてしまつたがこれは片づけられぬ前の二つの挿話だ。尤も、私人的な話だがね、我慢し給へ。兇い話だよ。

……婚結問題さ。笑はんでくれ

ニューヨークで、例の週刊新聞をやつてゐた頃、僕が今の妻と一種のまア阿片病にかゝつたと思ひたまへ。さて歸つた。結婚といふことになると、どうだ。例の「中外」の編輯をやつてゐた時分なので　先方の姉なるものが「雜誌記者さんヂ駄目だ社會の食ひはぐれものだ。そんな人間へは妹やれぬ」と力み出したので、僕は危く性的の取りつけ騷ぎになりかけたものだそんなわけで、先方では僕の身元を探偵に調査さした。それで僕が私生兒であるとわかり、勿論、探偵殿僕の在米當時の酒の上の苦勞などは知らない。(妙な辯解のやうだが、僕のウイスキーはシカゴで零下七八度から二十度迄の夜を馬車を曳いて歩いたお蔭で癖になつたものだ)ともかく駄目だといふ話さ。それをどうやら妻が最後の決意をしたもので、事件は急轉直下したわけなんだ。もう一つの事件といふのは僕の歸朝當時の養父の僕に對する態度だ。養父といつても肉親の伯父さ。奴僕が錢一文もつて歸らんもんじ、貴樣、何をしにアメリカへ行つたと詰るんだ。それから僕は諄々と說いた。いろ〳〵の方面から貨幣制度過信の迷蒙や、思想の權威や、自分の文藝方面に於ける自信や、それやこれや云つてみても、先生一向に動かない。それで、終ひに何を云ふかと思ふと

「どんな御客でも三日以上は家の者だ」

といふ口實のもとに、晩酌の好物もやめさせた。僕憤慨して眼玉といつしよに、伯父の家を飛び出してしまつた。間もなく僕は彼によつて「非國民の綽名の下に、破緣されてしまつた。これは僕の短篇集「麵麭」の中の伯父」に書いて置いた筈だ。

T君

どうせ、實話といふ注文だ、もうすこしコクのある話をしやうか。

第一に、現下の雜誌社の問題だ。流行文士とかいふ、牛太郎の出來損ひみたいな馬鹿者に、拙づい原稿に大枚十圓から二十圓も拂つてゐるのが、何だ。僕らが書くと、三圓か四圓、せい〳〵奮發して五六圓のところだこんな制度にどうしたものか。熟練上と云ふところからならば手前味噌ぢやないが、彼等などより年も多い僕らの方が、慾ひ早く發表しないだけ熟練してゐんだ。これは資本主義の迷信だよ。馬券を買ふ馬鹿者心理と同じさ。それでも僕などはまだいゝ方かも知れない。どうやらやつて　ゐるからな。大多數の所謂「プロレタリア文士」は、勿論エネルギーの問題もあらうが、それ以上に痛切に文藝上の資本主義制度の打擊を蒙つてゐるのだ。文士だなんて、ロクな商賣ぢやないよ。第一勞働者諸君からは、イカモノ扱ひはされるしすこしでも思想をもつてると官憲から睨まれるし、雜誌新聞は煙つたがるし、おまけに資本家からは寄生虫視されるし、どつち向いてもロクなことはないねこんな愚痴も、君があんな課題をしてくれたから惡いには惡いのだが。

しかし、それも甘んずるよ。僕らには僕らの主義があるんだから、一々さう相手の顏色ばかりを覗つて物を云つてるわけでもない。最近の地震から人災騷ぎには隨分ドサクサさせられた何しろ拔刀で青年團の奴らが追ひかけて來るんでね。云ひ草がいゝや。

「あいつ社會主義者だ、この際やつゝけろ。××からもさう命じられたんだ。怪しいものは××人に限らずやつゝけるんだつてさ。あの前田といふ文士は見つけ次第やるんだ」

かう僕のゐる前で云ふんだ。勿論街闇で顏はわからなかつた僕は、こりあかなはん。犬死は馬鹿らしいと思つて、ゆつたり歩いて早稻田文學社へ避難したところがあとからあとからと、拔刀をした奴がやつてくる騷ぎさ……がもうその話も云ひ古しだよさう。

大體に於て、「文士」などと瞞込んであるものだから、世間並の經驗なんかに乏しい僕だから所謂その方面の摘發材料には乏しい。だが經驗を離れての、現代制度の矛盾や缺陷は、ザラにあるからいくらでも述べられるが、さうなると君の希望と違ふやうだから、今度はこゝでペンを擱く。この次はもうすこし書きでのある題目を選んで來れ

君と同志の健鬪を祈る

狂友より

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

誠實に誠實をもつて酬はず

小川末明

私は、學校を出ると、すぐに雜誌記者になつた。二十四歳の夏の頃で、まだ社會といふものを知らなかつた。自分が誠實であれば、他もかならず、誠實をもつて應ずるものと、單純に考へてゐた。ちやうど、その頃、N博士の名聲は、學生や、新思想を有する若い者の間には、高かつた。

『N博士のところへ行つて、何か話しをきいて來たまへ。紹介狀を書くから』と、ある先輩に言はれた。

私は、その頃から、あまり知らぬ人のところへ行くのは好まなかつた。しかし、職業となつては、仕方がなかつた。所謂人格者として知られた、この先輩に、一種敬虔の念を抱きながら面會してからの言ふことなどを考へて出かけた。

暑い、日盛りを、私は、高台の方へ坂を上つて行つた。私は玄關に立つた。三十前後の家政婦風の女が、取次に出た。その時、彼の女の態度や、言葉付きから、曾て感じたことのなかつた階級的の感じを、かうした邸宅の中で感得した。

私は、來意を告げて、紹介狀を差出すと、女は、私の樣子を冷やかな眼付で見流して、奧へ入つて行つた。

間もなく女は出て來て『今日はお出かけになりますので、午後お歸りになりますから、三時頃お出下さい』と言つた。

私は三時に來る旨を殘して歸つた。正直で、また眞面目であつた。青年時代の自分は宿に歸つて椅ら取らなかつた。何等か重い役目が果されずに殘されてゐるやうな、嚴粛な氣持から解放されなかつた。

やがて三時になりかけた頃、約束を違はずに博士の門をはいつたのである。

先刻の女が取次に出て來た。

『先生は今日はすこしお疲れになりまして、いまおよつてゐらつしやいます。明朝八時頃にお出下されば、御面會なさいます』と言つた彼女は先生を特種の人間の如く、思つてゐるやうに尊敬した口調であつた。

私は誰よりも、彼女に對して嫌惡と不快を感じた。しかし、もう一度來て見ようといふ考へが起つた。そこで、明朝を約束して歸つた。

こんどこそは、面會ができるものと思つて、私は翌朝、まだ涼しい時分に同じく玄關を立つた。昨日の女は、顏を見合はしても、微笑だに帶ばないのである。

『これから文部大臣のところへお出になるのでお目にかゝられません』と彼女はさながら約束よりは主人の都合の方がより重大だと言はぬばかりだつた。

私は、決して二度とこの門をくゞらぬと思つた砂を蹴散らして出たのである。

ブルジョア階級には、どこにもかうした驕傲と虛榮があるものだと、私は、後になつて知ることができたが、當時、世間がこの人を尊敬してゐただけに、私には、一層強い反感をそゝられた。なほ、感激し易かつた自分はその後全く名士を訪問するといふことをよしてしまつた。彼等の前に、ある種の卑屈を強いられることを潔しとしなかつたからである。

同じ智識階級の中にも、かうしたブルジョアがあるごとくにゐても眞實であり、正直であるものは、然らざるものと戰はなければならない。次にもう一つ常に感ずる矛盾がある。

無産階級の人々は その精神によつて書かれた作品を、他の思想や感情で書かれた作品よりは、一層それに對して親愛を感じなければならないのだ。また智識階級は、彼等が常に眞理のために、正義のために力をつくし、味方するものなら、苟くもこの精神によつて、作られた大衆藝術に對しても先づ、これを認めなければならない筈である。

しかるに、事實は、相違してゐる。彼等はやはり通俗的なもの享樂的のものゝ方をより愛好する。大衆がこれであるがために藝術の場合にあつては、はじめから享樂を目的として書かれた作品の方が、一層賣れ行きがいいのである。流行作家といはれる如きものは、大概この民衆心理を最もよく會得したものである。眞面目に人生を考へるやうな作品は、獨り、眞理を愛するものには、喜ばれるけれど、多くの人々には、事實喜ばれてゐない。故に思想的な作品は賣れ行きが惡く從つて人氣的たらざるが故に、原稿料も少いといふことになる。

このことは、獨り資本家や雜誌記者のみの罪ばかりでなく、實に、民衆の責任でもあるといふことができる。傳統的な享樂心理と玩賞とが彼等自身に改まざる限りはほんたうに、眞面目に民衆のために考へられるやうな作品の價値は認められないであらう。

のみならず、最も純粹であるべき文壇にあつても、交際の上手下手や、一種の政治的手腕の有無や、いろ〳〵なさうした世俗的素質の、其の作家に有るなしの相違から、力量だけ酬いられる人と然らざるものとあるが如きは、他の職業者關係に於ける場合と變りがない。これ等のことは、單にその人の遇不遇とか言ふだけではすまされない問題である。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育者として感じた矛盾

新井友三

一

僕は元來教育が好きである。人が自由に職業を選び得る社會ならば僕は先づ教育家になりたい。僕は小學校に一年、中學校に二年あまり敎へた。僕が單純で正直で生々と跳ね廻つてゐる子供や、直視で無遠慮な學生を忘れ得ないのは、單に青年時代のロマンティシズムの故ではなく、眞に教育の樂みを忘れ得ないからである。彼等の求智に郷く隨や、理解に伴ふ喜びや、驚異を待つ好奇心に觸れた者は教育の樂しみを忘れることが出來ない。

しかし今の小學生も中學生も不幸である。一つには教授の方法か誤つてゐるのと、二つには現代社會制度が彼等を壓迫して眞の教育を與へないからである。

教授の方法は近來よほど改善された。小學校でも子供の生活を本位とする自然主義、自由主義の教育が行はれ出した。舊來の樣に教權本位、大人本位、詰込本位の方法が廢つて、開發的に子供を本位とする教授が行はれだした。しかしこれも都會一流の學校とか附屬小學校とか、金の餘る私立小學校のみに見られることで、一般の小學校では依然として無理な教授が子供を苦しめてゐる。

現在の社會制度が個人の生活を保障せざる以上、金にならぬ教育はどんなに望ましくとも行はれる筈がない。その反對に一から十まで金になる樣に教育されて行く。生徒が徹夜して勉强するのは試驗によい點を取るためである。よい點を取るのは卒業後、よい月給を取るためである。その前には個性の嗜好とか選擇とかは決して許されない。いやな學科でも試驗のためには無理に詰込まねばならぬ。よい月給、よい點、そのための勉强、そのための教室、そのための學校、だから學校は牢獄にして、書物は鐵鎖なのである。

して、否が應でも試驗にパスせねばならぬ教育、より多く貨幣を得るための教育、それを彼等は强ひられてゐる。彼等は尋常小學校の四年から中學への入學試驗を準備せねばならず、中學の三年から高級學校の問題集を見てビクビクしなければならぬ。いそいそと小學校の門をくゞつた生々した彼等は蒼い顔の垂れた陰氣な、コセコセした、小心翼々たる受驗生として中學の門を出なければならぬ。

二

それでも中學を出て高等程度の學校に進む者は幸福だ。現代社會制度の齎す第二の災害は教育の機會か均等でないことである。金がなければ學校へ行けないことである。假ひ學校へ行けても、教科書から習字の紙にまでつきまとふ暗影である。僕の教へた子供に貧乏な水撒屋の息子があつた。彼は三日に一日は學校を休んで父の車の後押をしなければならなかつた。汚ない一冊のノートの中に讀方の筆記も算術の雜記もゴツチャに付け込まねばならなかつた。運動會とか式とかには必ず休んだ。出席歩合を競爭する同級生はこの水撒の子を憎み、教師はこの汚ない不整頓な子供を輕蔑した。しかし誰か彼を憎み、彼を輕蔑することが出來るか。生徒の不成績や出席の惡いのは大部分家庭の事情に係つてゐる。郡長は時に優秀な貧兒を表彰して硯箱一個を與へることが出來るかも知れぬが、大多數の劣等兒が貧乏に基く家庭の亂脈と不整頓とに原因してゐる事實を除き去ることは出來ない！

僕の居た村には本校と分校とがあつて始終競爭してゐた。そして成績に於て、競技に分校は常に本校に劣つてゐた。教師は分校に行くことを嫌つた。

分校の生徒は體格が不同で、姿勢が惡かつた。頭拔けて高いものもあつたが一般に矜順か古鋸の歯の樣に狂つてゐた。そして團體としての訓練か行屆かず、命令が徹底しなかつた。蒼い顔には子供に似げなき狡猾な時には陰險な表情があり、眼はギロギロと光つて落付いてゐなかつた。本校の生徒の體格は一般に揃つてゐて、整列しても氣持ちよかつた。團體の行動はテキパキと行はれ、命令は直ちに徹底した。その頰は豊かに赤らんで、無邪氣な眼は生々と輝いてゐる。勿論、訓練に於て、成績に於て分校を遙に拔いてゐた。成績は傑出した者があつたが一般に平均標準か高く、特に劣等生と云ふものが尠かつた。これは何故であるか。

本校の家庭は多く百姓で生活があまり困難でもなかつた。農繁期には學校を閉ぢてその手傳ひをさせるが、此種の勞働は決して不自然なものではない。けれども分校は工場地の近くにあつて、多くは半農半勞であつた。しかも工場は主として紡績工場であるから、一家の中、母か姉かゞ必ず朝五時に出て夜七時に歸つて來る。工場はこの村の主婦や娘を吸收してゐた。云ふまでもなく之が子供を傷つける原因であつた。主婦の居ない、母の居ない家庭がどんなにみじめで不整頓であるか。家庭が奪はれた子供がどんなになるかはクドクドしく云ふ必要はない。習

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

養の不良な、頭の散亂した、道德的に薄弱な、生徒が分校に充ちるのは自然の數である。彼等の不良も陰險も懶惰も、資本主義によつて破壞された家庭に基いてゐる。所が皮肉なことには、その紡績の大株主の息子が大學を卒業して來て、彼等の前で演說した。そして貧弱な子供を煽つて帝國主義の犠牲精神を吹き込んだ。憐れな子供よ！彼等は營養不良になり成績不良になる。ここによつて、この大株主の息子に勉強させ「故郷に錦を飾らせ」ただけでなく、なほ甘んじてその犠牲となることを強ひられるのである！

三

資本主義の社會制度と教育の理想とは永久に一致しない。教育は眞の教育者を求める。しかし資本主義はたゞ教育を商賣とするに適した人々供給するに過ぎぬ。見よ、小學校の先生になる者は、經濟的に高等の學校へ進めない人か、又はその入學試驗に落第したか、若くは初めからそれだけの自信のない連中ではないか。師範學校の一部生は前者で、二部生は後者である。

この外田舍の小學校には遊んでゐても仕方がないからと云ふ地主の息子や、嫁入前の娘さんが臨時に出てゐる。なほ高等師範に入學する者は中學でも意久地のない奴が、大學へ行く學資が出せない連中に限られてゐる。いづれにせよ、初めから教育を理想として教育家になる者は殆んど皆無といつてよいのである。縣當局や文部省が夏休みを惜んで講習に次ぐに講習を以てしてやつと「時勢に副ふて」ゐるのは寧ろ悲慘な氣がする。

教師は教育者である前に先づ商人であらねばならぬ。始終生活の不安に驅られながら出來るだけ多くの交換價値を求めて、その智識を賣歩く商人である。教育の理想も師弟の情愛もあつたものではない。資本主義は寺子屋的師弟の關係を破つて、機械的生産的、薄利多賣的教室に智識の市場を開いてくれた。教師は最小の努力で、最大の交換價値を得ようと努める。教授も試驗もお座なりで、月給の高い所へは何時でも飛んで行く。それで教育が出來るかと憤慨する人があれば僕は卽座に答へよう「生涯に亘つて生活の保障をせよ」と。

僕の生徒に坊さんの息子がゐたが常に師弟の情愛が昔の樣でないことを痛恨してゐた。僕は教室で臆面もなく商人であること、止むを得ず教室に出てゐること、それは僕が惡いのでなくて社會制度が惡いのだと說明してやつた。不思議にも商賣人である僕は、教育者である他の教師達よりも、一層彼等に懷かまれた。

四

最後に現代の教育が階級教育であり、支配階級のためにする教育であることは云ふまでもない。どの教科書のどの頁を見ても封建思想と資本主義精神とのコビりついてゐない所はない。服從と勤勉とは資本家の奴隷につくることであり、忠君愛國と社會奉仕は資本家に仕へることである。教育上の技術の進歩も偶々階級教育の功を助けるに過ぎぬ。自然主義に基いたと誇稱する改正國語讀本を見よ。巧に兒童心理を操つて、より有効に奴隷道德、奴隷精神、その遊擊たる英雄崇拜、資本主義讃美を強いてゐるに過ぎないではないか。だから今の學校では大抵のことはその逆を用ひればよいのである。殊に將來の思想に慊らず、校長の訓辭に三文の敬意も拂はぬ中學生にはこの逆は中々に利目が多い。我等は封建思想の重壓に反抗して資本主義個人主義自由主義に分解しつゝある。この自由主義の反抗から社會主義の反抗へは正に一歩である。

この外、出身校や資格を主として實力を問はないことから、卒業式に縁も由りもない師團長を呼んで來て話をさせることに到るまで數へあげればいくらもあるが、あまり憎まれても仕方がないからこれ位にして置かう。

ゴルキーの見たレニン

レニンは[illegible]々同時代の誰よりも、更に人間味がある。そして彼の考察は、明かに何よりも先づ、空想家が「狹隘なる實際」と稱するに違ひない政治的組合せで忙がしいけれども、稀に悠然と休息した瞬間には、この鬪士の考察が自づと更に更に遠い未來に到達し、そして私自身には想像もつかない程多くのものを見るに相違ないと信じてゐる。

レニンの全生活の根本的目的は、人類の幸福と云ふことである。故に彼は、當然來るべき時代を先見し、その壯大なる行程の結末を見通し、そしてその源泉に於いて修行者の勇氣をもつて、彼の全意志を捧げてゐる。理想と云ふ言葉が、また人生のあらゆる力が、ただ一つの思想卽ち、一般の幸福といふ思想に結合してゐることを示すならば彼はたしかに理想家である。彼の個人的生活は、もし宗教的信念の旺盛な時代だつたら、世人はレニンを目して聖者となしたかもしれない。レニンは友誼に厚く、一般に人間らしい何物も缺けてゐない。特にこの點は明瞭にして置く必要がある。こんなことを云ふと、世人は一種の漠然とした窮屈な恥しいやうな感を起すかも知れない。政治に於ける大膽なる精神力と、深い洞察、それらのものはレニンの天性の根本的特長である。世界は未だかつて、レニンの門弟であるロシアの外交官が話する樣な言葉を聞いたことはなかつた。

日本勞働總同盟
十三年度全國大會記

横石信一

昨年十月七、八、九の三日間東京で開催される筈であつた我日本勞働總同盟全國大會は、の突如として關東地方を襲ふた大震災の爲めに延期されて、本年二月十 十一、十二の三日に亘つて、東京の協調會館に於て開かれた。

第一日

午前八時東京驛頭に、元氣な關西の代議員諸君を迎ねて雨と泥濘の中を會場に向つた。

午前十時、鈴木文治氏は議長席に着き、戰跡を語る數十流の會期の中に立つて開會を宣した傍聽席も招待席も滿員の盛況であつた。

先づ關東鐵工の内田君立つて歡迎の辭を述べ、之に京都聯合會の奧村君關西代表として答辭を述ぶ、次いで、日本農民組合の三宅君友宜團體として祝辭を述べて、議事に入つた。

議長は代議員資格審査委員、豫算委員、建議案委員、會計審査委員等の各種委員の指名を爲し、資格審査委員は、代議員の資格を審査す可き事を告げて三十分間休憩を宣す。

午後一時再會、資格審査委員長内田藤七君の報告――代議委は關東六十七名、關西七十名、鑛山十二名合計百四十九名、報告終つて、名古屋に開催中の官業勞働總同盟大會へ祝辭送電の緊急動議が、京都聯合會半谷君に依つて提出され、尚大阪、灘、等で戰つて居る三ケ所の爭議團へ激勵の電報を送る緊急動議を、大阪電氣工組合の鍋山君より提出され二つの緊急動議は滿場一致を以て可決された。之より午前に引續き各友宜團體の祝辭演說があつた。

次いで恒例の鈴木議長の挨拶次いで世界の大勢を論述した。

之より各種報告に移り、先づ望月君は、關東同盟の一ケ年の報告を爲す。關西同盟は藤岡君鑛夫總聯合は可兒君、各その報告を爲す。その中で爭議に就いて大略を記せば

爭議種別件數表

團体別	總數		罷工	紛爭	閉鎖
關東	一二	八	四	：	：
關西	三三	三	一〇	七	一三
鑛山	四	三	：	：	一
合計	四九	一四	一四	七	一三

自大正十一年八月至大正十二年十二月

である。それから最後に、加藤主事本部の報告を爲して第一日の日程は終つた。

第二日

芝園橋際の總同盟本部前にて十三度大會代議員の記念撮影をなし會場に向ふ。

午前十時四十五分鈴木文治氏は議長席に着き、第二日の開會を宣する。書記より釜山勞働、南鮮勞働其他四通の祝電披露があり、資格審査委員、豫算委員建議案委員の各種報告があつて愈々議案に移つた。

一、國際勞働者救濟委員會に感謝狀を送るの件(本部提出)

中央委員岡野君の提案說明あり、起草委員を指名し、滿場一致可決された。

二、全國的宣傳デー擧行の件

(京都聯合會提案)

京都電氣工組合の岩永君說明し「宣傳デー擧行日」を年二回說と一回說の議論があつたが、採結の結果組合組織の宣傳デーを年一回一日擧行すると云ふ、修正案が大多數で可決された。

三、龜戶事件に對する態度(本部案)

本部主事加藤君「龜戶の×殺事件で當局の發表は全部虛構である、第一慘×した日が違つて居る」と冒頭して言々當局の非を絕糾し滿場の血を湧かした。關東同盟の田口君は「當局は腹を切つて死ね」の彈劾贊成をなし彈劾文起草委員として九名の委員が指名され、滿場一致緊張裡に何決された。

緊急動議　京都聯合會の關頭君は、震災に乘じて流言を放ち〇〇人を虐殺したる事件に付き當局彈劾の決議文を發表したいとの緊張動議を提出し、九名の起草委員を指名し滿場一致可決された。

午前の議事を閉ぢた午後一時三十分開會各種委員の報告があり議事に入る。

四、社會運動取締法案反對の件

(京都聯合會提出)

京都聯合會桂君提案說明あり、過激社會運動取締法反對治安維持令撤廢の決議を爲し研究を政治部に實行方法を中央委員會に一任にて滿場一致可決された。

緊急動議　大阪藤岡君は小泉爭議を報告し此の席上で義損金を募りたいと提議し滿場一致可決され、場内整理委員は直ちに代議員は勿論傍聽者の隅々まで帽子を廻し、九十一圓二十三錢の淨金は集められた。と神戶聯合會の奧田君は應援電報を送れと緊急動議を提出し三名の起草委員を指命し滿場一致可決された。

五、賃金二重制度撤廢の件(關東鐵工組合提出)

關東鐵工組合の内田富二郞君說明し大多數可決された。

六、大會宣言(本部提出)

中央委員西尾君の世界の勞働運動の大勢及日本の勞働運動の情勢を論じ大會宣言を提出した詳細の說明があつた。何しろ日本の勞働組合の重大な轉換期に立つた宣言であるだけに、此の案が上提されると場内は全く緊張

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

した。傍聴席には、堺利彦、石川三四郎、山崎今朝彌、布施辰治諸氏の顔も見ゑて居た。大阪京都神戸代議員の矢繼ぎ早の質問に、西尾君は良く應答し、午後三時半質問を打切り休憩す。三時五十分開會、京都聯合會の國領君は、原案反對修正案を提出し三十分に亘つて原案は表現の拙劣でなく協調的精神に墮落したのではないかと難詰し、大阪の鍋山君は、此の原案は我々勞働組合が歩んで來た道が誤つて居たと云ふ失敗文だが、吾々は決して過去の運動が誤つて居たとは思はない。と反對修正案を提出し、神戸聯合會の今吉君は、最近我國の資本主義の示して居る傾向と、勞働階級の勢力の增大を觀察するから積極的な政策を取るのであると述べる。關東鐵工組合の内田藤七君は、原案は反對修正案と根本精神に少しも相違はない、只表現の相違である。と原案に贊成する。原案贊成、修正案贊成で大論爭を續け午後五時休憩す。五時十五分開議審議未了の儘第三日に持越す。かくして五時廿分第二日は閉會した。

第三日

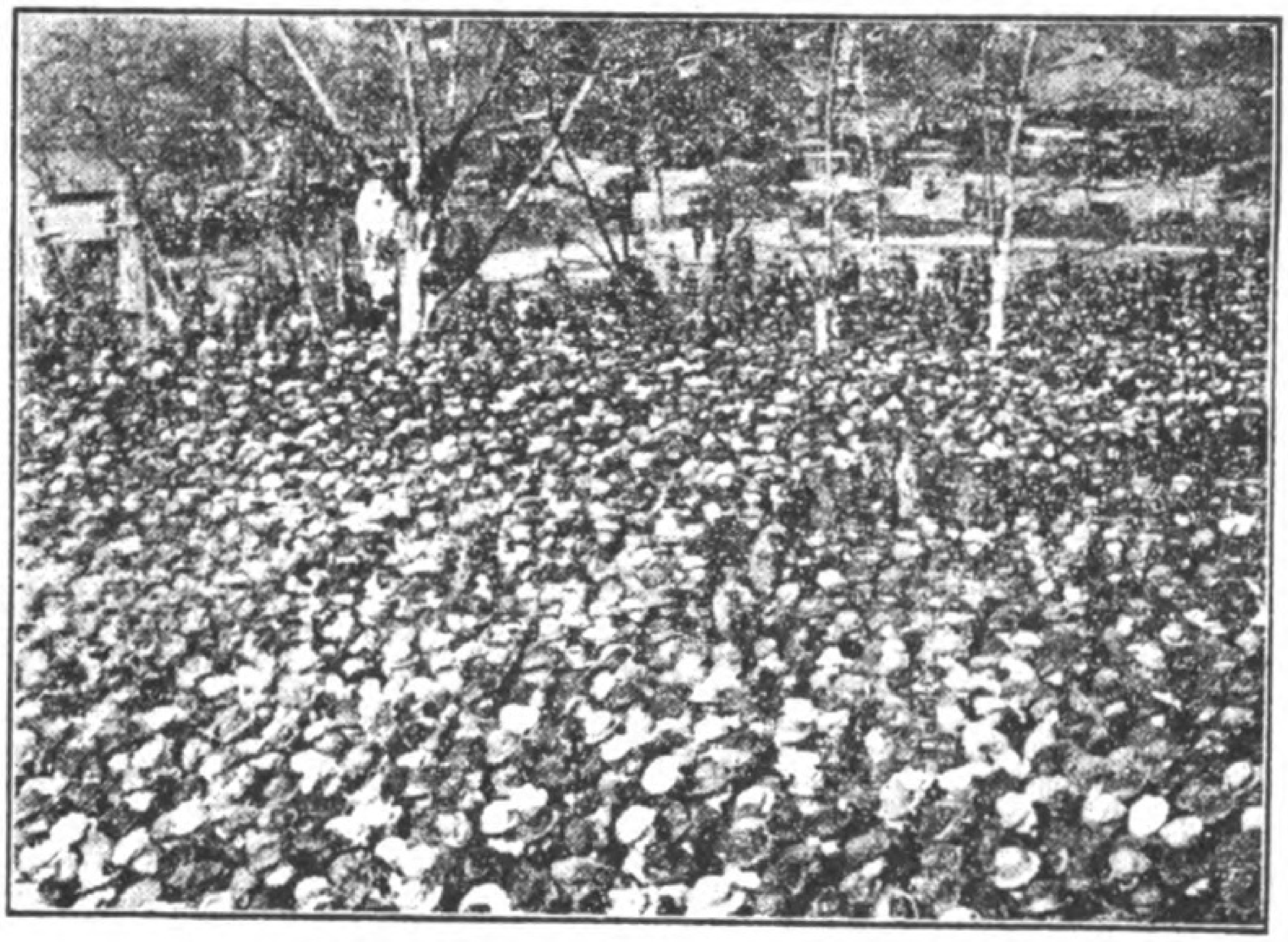
第三日は前日より持越の宣言問題が劈頭に討議されると云ふので緊張裡に開會されたが同案は重大問題なればと大阪金正君の緊急動議で午後の日程に變更され議案に入る。

七、中央爭議部設置の件（大阪聯合會提出）
大阪聯合會の藤岡君の説明で滿場一致可決された。

八、農民組合に對する態度（關東同盟會提出）
關東同盟望月源次君の説明で決議文修正に依て滿場一致可決す

九、總同盟出版部に於て日本勞働運動史及年鑑を編輯するの件（大阪機械勞働組合提出）
大阪機械勞働組合の塚本君の説明し滿場一致可決す。

十、サラリーマンユニオン促進認容の件（神戸聯合會提出）
神戸聯合會今吉君の説明がありの



大會開會前に於ける廣場の光景

反對續出し遂に提案者より撤回す。

十一、婦人部設置の件（關東同盟會提出）
關東鐵工組合内田藤七君説明し山内女史は大阪方面の運動の實情を報告し、一年間研究の爲に保留を希望すると述べる。議論採決の結果、七十と六十四の六表の多數で、一年間委員附宅修正案が可決された。

十二、無産兒童日曜學校普及の件（神戸聯合會提出）
神戸合同組合の奥田君説明し、實行不可能で大多數で否決さる。

十三、職業紹介所の全國的統一の件（關東同盟會提出）
關東鐵工組合高岡君の説明で滿場一致可決す。

十四、勞農ロシア承認の件（本部提出）
中央委員塚本君の説明で滿場一致可決す。

京都聯合會の桂君より次の緊急動議が提出された。

◎ロシア勞働者に感謝狀を送る件
實行方法中央委員會一任

◎レーニン氏死のに對し弔辭を送る件
實行方法中央委員會一任

◎英國勞働黨内閣に挨拶文を送る件
實行方法國際部一任

三案一致可決す。

大會宣言

大會宣言書は、關東關西鑛山の修正委員が十一日夜深更まで、鳩首凝議を重ねた結果大體本部案を基礎として神戸大阪、京都の三案の主張を入れて漸く衆議一決し、各派打合せ會草案が提出され大阪電氣工組合の中村君の説明と朗讀を終り直に滿場一致可決された。

十五、會則改正の件（本部出提）
中央委員塚本君より、庶務、會計部を削除し新に大會で可決された中央爭議部と、調査研究としての政治部との二部を附加する事を説明報告し、滿場一致可決された。

次いで望月法規委員長の報告を滿場一致採託す。

西尾中央委員、加藤本部主事より、朝鮮勞働同盟よりの書面及京城府に於て四月開かれる勞農大會招待に關して報告があり調査を中央委員會に一任する事に決定した。

次年度大會

期日　大正十四年四月上旬

場所　恒例により關西として關西同盟會理事會に一任することに決定。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

役員選擧の決果改選された中央委員は◆關東、田口納藏、岡野貫、内田藤七◆鑛山、可兒義雄、石山寅吉◆關西、西尾末廣、塚本重藏、平井美人、半谷玉三、靑柿善一郎の十氏で昨年より二名增加された。

鈴木會長。新任主事加藤勘十氏の詮衡委員の推薦が滿場の拍手に迎へられて可決した。

折柄來會した、日本海員組合の濱田國太郎氏の海員組合との提携を切望する旨の挨拶があり午後三時勞働者萬歲を三唱し散會した。

我國の勞働運動上にも、初期時代には當然辿らねばならなかつたところの潔癖なる運動の殼を脫して、その進路に大方向轉換を行はねばならない時期に當面してゐた。かう云ふ時期に當つて、開催されたので種々な方面から色々な意味で注意を引いた。

種々緊要な議案も各代議員の眞面目な討議によつて、決定せられ、方向轉換も空語に終らず實行せられる事となつた。かくて赤旗の歌の合唱裡に十三年度大會は無事終了した。

宣　言　書

今や我國勞働運動は、最も重要なる轉換期に立つて居る。吾等が大正十三年大會に於て茲に本宣言を發するは、獨り日本勞働總同盟の運動のみならず、廣く我國勞働運動史上に於て特に重要なる意義を帶びるものである事を確信する。

抑も無產階級運動勞働運動はその對象たる資本主義の發展階段の、その階段を示す狀態及び味方の勢力の變動に應じて絕へず戰術を變更して行かねばならぬ。

歐洲大戰によつて打開された社會不安の暗影は資本主義社會の內部的矛盾を增大せしめて之を崩壞の危機に近づかしめ、それと同時に無產階級の飛躍的進展を見るに至つた。一方に於て支配階級は必死の勇を揮つて現制度の維持に努力し無產階級に對しては假借なき彈壓の刄を振ひつゝある。

顧つて歐洲大戰後の我國勞働運動を見るに無產階級勃興の世界的氣運に刺戟せられて我國の勞働運動は非常なる意氣と白熱的奮鬪とを以て階級鬪爭に參加して來たこれに依つて我國勞働階級の戰鬪分子は、勞働階級解放の目的と使命とを充分自覺するに至り、幾多の試練を經て漸く戰鬪的勞働組合の基礎を確立するを得たのである。

元來我國の資本主義は順調なる發展を遂げざる間に世界の激烈なる帝國主義的形勢に壓迫された結果、早熟のまゝに資本主義發達の最後の段階たる帝國主義の形態を探るに至つた。故に我國の資本主義は自由主義を經ずして直に軍國主義化し、從つて專制的色彩を多分に帶び、無產階級運動の自由を抑壓する幾多の障碍を橫たへて居るのである。其上に將に高潮に達して居る世界的階級鬪爭の氣運は歐洲大戰後漸くにして自覺せる我國無產階の少數分子をして、其の思想的水準を急激に高めしめたが、一方に於て働勞組合の無產階級解放運動に於ける使命と職分とを充分に認識する事を得なかつた。

斯の如き形勢は必然的に無產階級運動の大衆化を困難ならしめ理想に燃ゆる少數者の運動を動もすれば潔癖と、生硬に傾かしなるに至つたのである。我等は過去に於ける我國勞働運動の過程は必然的に我國資本主義の變則的發展に應じたるものなることを斷言する。けれども若し吾等が今後猶依然として舊來の態度を繼續するならばそれこそ大なる誤りであり過失を犯すものである。

何故ならば、今や吾等は過去に於けるよりも、其政策を、より現實化し積極化なさねばならぬ必要に迫られて居る。而して其必要は最近に於ける我國資本主義の示しつゝある傾向と勞働階級の勢力の增大を吾等が正確に觀察する事を得たからである。我國の勞働組合運動は少數者の運動から轉じて大衆的運動に向ふべき一階段に到達したのである。

改良的政策に對する、從來の消極的態度に、積極的に、之を利用することに、改められなければならぬ。例へば、ブルジョア議會に依つて、勞働階級の根本的解放を期待する所毫もなきは勿論なれども、普選實施後に於ては選擧權を有効に行使することに依り政治上の部分的利益を獲得すると共に無產階級の政治的覺醒を促し、又國際勞働會議に就ても之が對策を愼重に考慮し、以て我國勞働組合發展の爲めに計るべきである。

我等は階級的利害の一致により分立せる、勞働組合の合同は勿論組織されざる勞働階級の結束を計り現實的利益を獲得して終局の目的に向つて進むべき勞働組合運動本來の面目を發揮しなければならぬ。吾等は明徹なる批判力と階級意識に目覺めたる今日の戰鬪的勞働組合員は支配階級が勞働階級の革命的精神を鈍らす爲めに與へんとする改良的政策を利用すとも斷じて墮落せざる事を信ずるものである。

吾等が無產階級解放運動は今後と雖も隨時敵の狀勢と味方の勢力の變化に應じて其戰術も變更されねばならぬ。

然しながら如何に現實の必要の爲めに政策上に變化が行はれ樣とも、無產階級解放の根本的精神に就ては毫も變りなき事を聲明する。

以　上

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大會傍聽記

傍聽席にあつた吾人が、本年度大會を通じて特に感じた事は六ケ敷い理論よりも、一歩々々現實に重きを置くと共に政治運動へ一歩踏み出して來た事である。この事は、大會の空氣や、諸種の議案を通じても充分にうかがはれる。

一

劈頭鈴木文治君は「勞働運動は最後の結果を把握する使命を有す。されど理想の標的に急ぐために、現實の桓の存在を忘るゝは勇に似し、匹夫の勇である。我國の勞働組合は發達したとは稱し乍ら、未だ外國の如く社會的の公認なく、かの正義の主張メーデーの如きも、官憲の思ふがまゝに壓迫せられ、世人も亦多く其の意義を語らない。組合員中にも組合の使命を知らざるものも皆無とは殘念乍ら言ひ難く。……と輕佻を戒め、勞農ロシアの新經濟政策並に、英國勞働黨内閣の諸政策を擧げて、「運動方法は國家的諸事情を深く考慮して進むべきこと」を反復力說した。

二

亀戸事件に對する態度が議案に上るや加藤勘十君は同志十名が亀戸署に於て、軍隊と警察に依つて虐殺された該事件の眞想を述べ、事實を曖昧裡に葬り去らんとしたる當局の非道を痛烈に糺彈し、議案として、官憲に對し彈劾文を、〇〇人〇〇事件と併せて投つける事を可決した。此種、當局官憲に對し、彈劾文を突きつけると云つた事も、從來には餘り見ぬ新しい方法である。

又、賃金二重制度撤廢案の如きもさうである。この二重制度と云ふのは、僅か九十三錢（平均賃金）の賃金で吾々を酷使し請負制度を設けて二重に搾取し且つ夜業殘業迄も強ひしかも馘首の場合には、低い賃金に準じて手當を出さうと云ふ資本家の巧悔なる奸策である。この奸策に對して、在來吾々は幾千回となく常に戰つて來た。そのためにはストライキもやれば多くの犧牲者も出して居る。現在も戰ひつゝある。將來も飽く迄やらねばならぬ。戰ふ事はプロレタリアートの權利である。戰ひの相手は個々の資本家である。

しかし、吾々は一方では國家權力と鬪ふ事を忘れてはならぬ即ち、プロレタリアートの政治運動として、國家をしてこの賃金二重制度を撤廢さす事を忘れてはならぬ。幸　議案は可決せられて居る。今後は貫徹に努力せねばならぬ。

次に西尾末廣君は大會宣言に當つて次の如く述べて居る。「勞働組合は、資本家階級の强壓に抗爭しつゝ、戰鬪的勞働組合の基礎をやうやく確立するに至つた。しかし、今日にして過去の昔等の戰跡を顧みれば、又過失あつた事をも認めぬわけにはゆかぬ。」と、そしてその過失とは『飛躍的に無産階級解放の歷史的使命を遂行しやうとしたために、動もすれば、吾等の運動方針と戰術に於て潔癖に過ぎ、勞働大衆に階級意識を與ね、之を組織すべき組合の使命を充分に果し得なかつた。今や正に從來の方向を轉換すべき時期に立つて居る。卽ち現實に卽し、實際的利益の獲得を無視してはならぬ。ブルヂョア議會に對しても之によつて、無産階級の政治的利益を獲得するに吾等は躊躇すべきでない。また國際勞働會議の如きも、時に之を利用するも不可とせぬ」と力說した。又鍋山君等は「原案の方向轉換說は大體に於て賛成なるも、その轉換の意味は、過去に於て吾等は勞働組合が解放運動の全部であるかの如く考へて、無産階級政黨の職分迄もやつて來た。これは勞働組合の使命を眞に自覺しなかつた事に因るものである。而して、勞働運動の方向轉換とは、從來の組合萬能の殼を脫することを意味する」と說いて、無産階級解放運動の戰線に、組合と政黨との二砲門のある事を明かにした。

三

昨年も一昨年も世に出ようとして二度までも引つこんだ例の「過激社會運動取締法案」反對の件で特に「過激」の二字を取つた所に又意味が窺はれる。惡法案に對する輿論の反對をゴマカス奸策として「これは極過激なテロリストのみに適用するのだ」と云ふ尤もらしい表面口實を設けてゐる。吾々は一切の社會運動を取締る法案は、無産階級への挑戰として、斷固として此の惡法案をブップさなければならぬ。

四

更に、もう一つ事新しい事は政治部の新設である。

大會の空氣を通して見たところ、日本の勞働組合の傾向も本質も決して歐米のそれよりは後れて居ない。兎に角いちじろしい進歩をこゝ數年でやつたもんだ。英國の勞働者が百五十年の苦しき歷史を經て、達した域だ。又、米國の勞働者が數にこそ勝れ、質に於いてはそれより後れてゐる。

たゞより以上に希望する所はこの具體的な着實な要求の下にもつと組織に向つて力を注いだならば、この爭鬪的な日本の組合運動は、世界のプロレタリアートの指導的位地をかち獲ると云ふのも決して空語に終らないだらう。（一月十五日記者）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合葬で感じた事

權藤誠子

『巡査が立つてる方へ行きさいすりア、間違ひつこないよ』斯う云ふ聲が、私をふり返らせた。それは三人連の、作業服を着た人達で、彼等の達者な早い足どりは、見るまに私を追ひ越して齋場の方へ行くのであつた。

『組合葬へゆく人達だ』と、私はある親しみを感じながら、彼等のあとに急いだ。

齋場に近づくほど、正服私服の警官の數はふゐて行つた。そして其間には、憲兵やカーキ色服も幾人か見ゐた。

同志が少しでも集まる處には、きつと彼等の附まとふ、それはまるで眞夏の蠅の樣で、其うるさゝには、幾分慣れてはゐるが、やはり彼等を見ると強い憎惡を感ずるのである。殊に今日は、彼等の服の色や、サーベルの音が、半年前の虐×の光景を、生々しく思ひ起させて、實にイヤな心持がした。

定刻はもう過ぎてゐた。しかし、まだ式は始まつてなかつた。各勞働組合の人々の間に交つて未決や既決から出獄して間もない人々の姿も見ゐてゐた。しかし一人の金モールや大禮服の會葬者もなければ、一人の白襟紋付の貴婦人も見ゐない。それはこの前高尾氏を弔つた社會葬と同じである。それはこゝに集まる人のすべてが、悉く僞禮や虛飾のカラを破りすてゝ眞心から、死者の靈前に額づく人々であることを思はせた。祭壇を飾る組合旗、それも、前の社會葬の時と同じであつた。たゞ其時になかつた二つの大きい花環があつた。それは二つの國際的團體から贈られた、極めて意義あるものである——實に今日の死者の墓場を飾るにふさはしく、清い花環であつた。

この祭壇の前に、誰か熱涙を流さぬものがあらうか？云ひ表し難い痛恨と憤怒。それは形式を離れ、修辭を去つた各團體の弔辭にも、又無言で集まつて居る個々の人の眼のうちにも期せずして現はれてゐる。ここに、遺族總代の接核の時、言ふ人も聞く人も嗚咽の聲を止めかねた程であつた。

二月十七日青山祭場で同志の手によつて行はれた

夕暮、私どもは、異常な緊張した氣持で、齋場を出た。

組合葬の翌日は、各新聞に昨日の記事が、載つて居た。そのうちに、甘粕大尉のお手傳ひをした鴨志田と云ふ憲兵も來てゐたとあつた『惜い事をした、どんな顔して居たろう!!』私はこんな事を云つて笑つた。しかし石黒氏の弟といふ人が彼等の手に檢束されたといふことを讀んだ時は、傷ましい心持がした。無邪氣な子供でも、上官の命令とあれば手もなく殺すやうな人達からあの若い同志は、どんなひどい苛責を受けてゐるであろう。!!私は、彼れかつゝがなく兵役の苦を終るのを心で祈つた。

五十餘年前、獨逸でビスマルクが 所謂危險思想を鎭壓しやうとした法案——そして美事に失敗した法案は、今極東の我が政府の手で、燒き直され、實施されやうとして居る。いな事實は、實施されたと等しい狀態である。けれども法令は、思想を撲滅するほど力強いものであろうか？、それほどの力があるものなら、今頃は、思想の根も葉も枯つくして居る筈である。歷史は事實を力強く物語つて居る。

多くの傷ましい犧牲者の血を見て怖氣づくほどの弱者なら、初めから階級戰に參加はしない筈である。我々のかざす赤旗の色は、九人の鬪士の血によつて又濃く彩られた。私どもは、この旗を揚げて、最後の勝利を得るまで戰はなければならない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合葬に列して

福田すみ子

敵の支配階級と雖も、日に日に增大して行く無産階級の力を認めぬ譯には行かぬ。合法、非合法、何等かの手段によつて、此の新興勢力を粉砕せんと肝膽して居る。卽ち合法手段としては「社會運動取締法案」の如き暴法案を畫策し、資本主義國家の露骨なる主張を實現せんとし非合法手段としては、多くの「ゴロツキ」を集めて、暴力團を組織してゐる。

此度の不虞の震災の如きも彼等にとつては、千載一遇の好期であつた。卽ち、かゝる天災の混亂期こそ、彼等が常に合法的に組織せる軍隊、警察の力を、最も非合法的に行使するに絶好の時なのである。

龜井戸×殺事件の如きは、正にその典型的なものである。

今日、同志の握つてゐる確證に依つて當時の慘劇の事實を見る時は歴然として明かである。

然るに當局が世に公表した所では治安のためと云ふ美衣（？）をもつて この明白な事實も、一般民衆の前に掩はれんとしてゐる。

二月十七日。私達は、限りない痛恨さ、もゆるやうな復讐心とを胸底に深く藏して、青山祭場に於ける組合葬に列した。この日位、私達に對して深い決意を促した事はない。

苛酷なる壓害は、峻烈なる運動を呼び起し、慘忍なる迫害は幾千の同志の復讐心をそゝる。

又、この日位私達無産階級の『戰術』について深く考へさせた事も少い。

ブルヂョアの搾取に對して、經濟鬪爭を以て、賃銀の値上げ、勞働時間の短縮を要求するもよからう。又、當然要求せねばならない。このために相當の犧牲を拂ふ事も決して避けるものではない。

だがしかし、當面の抗爭の對手は、ブルヂョア制度を支持してゐる國家權力である事を忘れてはならぬ。

敵は、權力を掌握して居る。如何に勇敢に、如何に緻密な策戰を企らして、ストライキを決行すると雖も、警察と軍隊とを向ふに廻して、果してよく、勞働者解放の目的を達する事が出來るであらうか。又、果して何處の國に於いて、總同盟罷行によつて、最後の勝利を獲たためしがあるであらうか。勞働者が政權を掌握するに非ざれば、勞働者の解放は期せられない。では、如何にして政權を掌握するかゞ私達にとつての問題である。

私達の戰術はあらかじめ、圖兩師が設計するやうな譯には行かぬ形勢の如何によつて合法、非合法そのよろしきを得なければならぬ。思想家の頭腦から抽出されるものでなく、その時の經濟狀態、政治組織の如何卽ち社會的條件によつて決定せしめられるものである。

卽ち、日本の社會狀態を細密に知つて、然る後に策戰計劃をめぐらす可きである。このために、しつかりした調査機關を設くる事も重要な事柄である。

今日本も世界的反動の潮流を受けて、其の時期にある。又、日本の勞働者は、各國の勞働者に比して、勞働賃銀率も頗る低い。政治的何等の地位も與へられてゐない。言論、結社の自由すら認められてゐない。加ふるに支配階級の壓迫は合法的に、非合法的に益々峻酷を極めんとしてゐる。

正に、私達無産階級は、最も難局に處して居る。この難局に處して、如何に細密なる調査を遂ぐると雖も、一擧に政權掌握の事業は達成されない。

然らば、この難局を如何に切りぬけて行く可きか。私達は議會主義によつて、ブルヂョア議會に多數を擁し……等と、社會主義の主張を裏切る者を徹底的に排斥する。又、よしそれが可能であるとしても、私達の運動から時間を超越する事を許さない。特に、デモクラシイすら發達しない日本に取つては全く空語に過ぎない。私達の想像する所によれば、日本は「正」「反」の激甚なる鬪爭を急激に繰返すであらう。

然らば、全然我達は議會運動をボイコットするか。私はこれにも贊成出來ない。議會運動をボイコットして失敗した實例を印度、伊太利其他に見る。又、利害問題に敏感にして思想問題に無頓着な大衆を前にして、民衆が社會主義者になるのを待つ氣永さをも避けねばならぬ。更に「いつかは我達の思想が大衆の思想になるであらう」と云ふあはい希望を繋いでゐる譯にも行かない。

私達は議會運動に、街頭運動に、工場に農村に凡ゆる場面に於て、民衆と接觸し、利害と、感情と、理論とを以て、彼等の信頼を博さなければならない。民衆の支持を得て、始めて力を發る事が出來るのである「正」「反」の激甚なる鬪爭の場面に於いて力が最後の斷案を下す。

議會は有力な一戰場である。この戰場に於いて一歩でも有利な地歩を獲得し、更に攻勢に出るために、ハツキリ無階級の立場から普選運動を開始する事も決して無駄な努力でない。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

米國共産黨樹立とその當時の内部のスパイ

田口運藏

【一】

ロシア革命の成功に醉はされてアメリカの社會黨は、内部に非常な暗鬪を始めたのはたしか一九一八年の秋からであつた。それより先き、一九一七年の正月頃、旣に其の首領間にトテモ妥協提携の望みが無い程までに主義上の立ち場も主張も異なつた二つの大きな流れがあつたのだ。

それで、今ロシアに經濟的復活の地盤運動に全力を盡して居るルトガース（この人は數回日本に來て、日本の多くの同志を知つて居る）の財政的の援助の下にトロツキーをスペインの監獄から保釋して貰つて、彼をニューヨークに呼びよせ當時日本から亡命してゐた片山潛をロースアンゼルス市から急いでニューヨークに連れ出して、トロツキー、片山潛、フレーナーの三氏を編輯及主幹として、「階級戰」と云ふ英文の月刊が發行せられたのも一九一六年の暮であつた。

其主意は、アメリカ社會民主黨の左翼派を統一し、そしてチンメルワールドの大會の決議に基て、大活動せんとする下心であつた事は確かである。

で見れば、もう其當時旣に左翼と右翼か立派に分裂してあつた事は、ヨーロッパの凡ての社會民主黨と同じであつた。そして、それが愈々兩派の表立てる爭ひと化したのは一九一八年の夏頃から激成せられたのであつた。それには幾多の國内的關係もあつた事は事實だが、ロシアのボルセキキ政府の主張と政策とが、其頃初めて、アメリカのプロレタリアートの中に明確となつたがためでもあつた。それで左翼派の主張は、全然ロシアボルセキキ黨の主張であり政策であつた。彼等の叫ぶ處の急務は、アメリカ共産黨の樹立であつた。そして、アメリカ社會民主黨の舊い名ある首領株は其環境の然らしめたのか、或は個人的の關係からしてか、第二インターナショナルの破産を事實と認めて居ながらもボルセキキ革命に同情して或は又ロシア革命を讃美しながらも、ボルセキキの主張にはハッキリした返答を與ねず、左翼派の行動には徹底的の防害運動を始めると同時に左翼派分子の首領を黨から放逐した。チカゴ市に於ける大會で黨が全く二つに分裂して、結局左翼派が大部分であつた。これは丁度一九〇三年のロンドン市に於けるロシア社會民主黨内部の分裂の當時のそれと同じ道行であつた樣だ。

【二】

丁度チカゴ大會が終つて、共産黨樹立が左翼派分子の具體案とされてあつた頃、一人の有力なる左翼派の同志がロシアから歸つて來た。その男は詩人として、且つ社會主義者の戰爭通信員として世界的の流行兒であるジョン・リードであつた。彼がボルセキキ革命の見聞記を公表すると同時に、堂々と全米に亘つて、共産黨樹立の急務を說き廻つたのである。しかし彼れの餘りにサバケ過ぎた遣り方が左翼派分子を妙な具合に大きく二つに分裂せしめるの止むなきにしてしまつた。主義も政策も或は當面の解決方法も同一であり乍ら二つの大きな異つた團體が一九一九年の八月三十一日米國に現はれたのだ。それは米國共産黨と米國共産勞働黨と云ふ二つの名稱の下に現はれた。そして大體から見ると種族的の異なる分子が計らずも大別せられたのである。卽ち、スラブ、ユダヤ、イタリア等の移民の革命的分子が米國共産黨に集まり、アングロサクソンの系統を引いたものが米國共産勞働黨に走つたのである。

一九一九年の八月三十一日にチカゴに於いて「共産黨」の創立委員會が開かれたのであつた。その場面に上述の異る代表側の意見が火花を散らして、結局この感情的の爭ひが前に述べた通りの二つの「共産黨」が同夜の中に結黨式が同じチカゴの同じビルデングの異なる部屋に舉げられたのである。

この二つの共産黨は、共に米國憲法の制定せる結社の自由に基いて組織せられた立派なプロレタリアの革命政黨であつたその當時、米國共産黨側の有力なる發起人の一人として、甚だ恐るべきスパイが、入つて居つた事が、一九二一年の正月元旦の米國の當時の司法大臣パルマーの鎭壓のクデーターのあつた事によつて曝露せられその當時、私は（記者）彼れスパイと親く談じた事もあり、彼れの最も過激なる論調に敬服せられたものであつた。今こゝに少し其の當時のスパイの事について述べて見よう。

【三】

彼れの名はツカーと呼ぶ相當の生活をしてゐる歯醫者のユダ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ヤ系の一人である。彼れは其當時共産黨樹立運動の最も過激なるものと自他共に許してあつた程であるが、只彼れの過去として、社會黨員として生活が餘りに短い年數なので、一寸ロシア革命がうみ出した主義者のやうに私等迄が思つて居たのである。

彼の主張する所は、極左派的論調ではあるが政黨樹立の即時斷行論者で、其態度も活動も兎に角敏駿な點には一歩地を拔いた態であつた。そして其の創立大會に於ても、革命氣分のスラブ、ユダヤ系の移民勞働者の血を湧き立たせる程の熱辯を振つたので、米國共産黨の中央執行委員としても、大多數の投票を獲たる一人であつた。そして何人も彼が米國の官憲否、司法大臣パルマーと何等か臭い關係があらうとは思ふたものは無かつたであらう。

彼ツカーがスパイで、しかも司法大臣から何程の生活の補充を得て居つたと云ふ事は、彼が後にモスコーに於て捕縛投獄せられて初めて米國の同志等も知る事が出來たのであつた。

話しは戻るが一九二二年正月元旦の共産主義者の大捕縛が全米に亘つて、徹底的にやられたのであつた。ツカーも其の大物の一人として他の數百の同志と同様に、否むしろ巨魁として逮捕投獄された。その當時の事であるが、私等も日本人の同志としての片山老人と共に變裝してペンサルベニア、ステーションから逃げ出したなど面白いこわい物語りの多くがある。

【四】

彼ツカーは、他の捕縛せられた同志と同様に幾日かの未決監生活の後、公判せられ十三年の懲役に罰せられて、ニューヨークの監獄に服役したのである。凡ての人は、彼は監獄生活をして居るものと思つて居たに、ところが外國電報は突然『ドクター・ツカーモスカウに投獄せらる」と云ふ様な事を報道した。話は話を生んで、種々の流言蜚語が黨員の内部にすらも大に散らばつた。多くのランカン・ファイル(平黨員)は監獄に服役中の筈である彼れが、渡露する筈が無いので、其の電報が虚偽であると迄斷定せられた。

然るに事實は彼れは、ロシアにあつた。しかも、服役して二三ケ月の後、エストニアのクバール港を經て堂々と米國共産黨員の證明書を持つて、モスカウに到着したのであつた。その當時のモスコウの共産黨國際同盟本部でも、米國とロシアとの通信不完全のために、米國に於ける有力なる同志として彼れが、僞造せる委任狀の事や監獄に生活中の筈である可き事などを少しも知る由もなく、彼れに相當の待遇を與へて居たのである。

だが、彼れの擧動の不審と、彼れの發送する郵便物からして、疑惑の種が擧り勞農政府のチェカー(革命裁判所)に於て、彼れは審問せられたのである。その結果彼れが、如何ばかり巧に米國官憲と連絡してあつたか、投獄せられたのと見せかけて、秘密裡に米國を逃け出で、入露せる順次までが、細かに判明した。當然彼れは死刑にさるべき筈ではあつたが、何分にも司法大臣パルマーの署名せるものや公然の旅券すらも持つて居るので外交關係にも觸れる事でもあるので、彼れは米國に送り返された。勿論米國の同志は、むしろ驚くよりも、あつけに取られた始末であつた。

勿論彼れは始めよりスパイではなかつたらう。しかし、彼れの性格上の薄弱な所をつけ込まれてか、遂に官憲の犬となつたのだらう。その當時米國の官憲は、革命ロシアの内探を使つて充分なる材料を得る必要が、近き將來に必ず來ると云ふ所から彼れをうまく利用して上邊のみ過激化を敢てせしめたのだらう。そして、彼れは官憲と充分なる連絡あるため、怖ける色も見せないで、共産黨樹立の必要を說き廻つたのだらうと云ふ說もある。

當然黨として、彼れを出來るだけの重刑に處すべきであるが、また米國プロレタリアートが權力を得ぬ前には出來ないのであつた。

この通りに彼れは兎に角スパイであつた。恐る可き巧妙さを以て、それをやつて居つたのだ。この話はアメリカに起つた國際的のスパイの一例にしか過ぎない。命懸けの革命運動には常にこれに類似な多くのスパイが附き纏ふことは、吾等が容易に想像し得る事だ。ロシアのボルセヰキの歴史にも、この話以上の怖ろしき實話が少くはない。日本のやうに、社會運動が未だ左程に發達しないで、支配階級から眞に怖る可き一勢力と看られない所では、まだ〳〵斯ふ云ふ組織的な大仕掛けなスパイも今では現はれもしないだらうが、近い將來に於いては、何人か、こんな事は無いと斷言が出來るものではない。そして、日本の運動に於いても、吾々がたとへ微弱でもそれに應じての小さいスパイの話をよく聞かされる事がある。今度の所謂共産黨事件等にも、同志達の周圍に小さな有象無象のスパイが、吾等同志達の思ひもよらぬ造り話を警視廳に賣り込んだと云ふやうな評判も聞いて居る。それ等の材料を集めて、官憲は物々しい鳴り物入りの大騷ぎをやつたと云ふ事を、吾等はハッキリと解せられる。看板を掲げて來るスパイは怖るゝ必要はない。吾等の怖るゝものは、主義者らしい態度をして、口に過激な言動をなしそして内部に入り來るスパイだ。亦本當に初からスパイで無い同志が彼の意志のもろいのさ、性格の弱いために、無意識にスパイ的行爲に結果する事を怖るゝのである。(二月二十五日)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

經濟問題

震災奴景氣論に含む資本主義經濟の矛盾（下）

高橋龜吉

【四】

以上最後の二説を仔細に吟味すると震災景氣出現論の根底は財の破壞の結果之を補ふために社會の各級が何れもよく働き得るやうになるからだ、と謂ふことが看取されるであらう。事實好景氣と謂ふことは、社會の各階級が何れも全力をつくして働く場合の名に外ならない。之れなくしては、好景氣の場合に各人が、平常よりもより以上豐かな生活をなし得る道理がない。尤も、一時的の現象や、局部的の事實から見れば、勞働者の賃銀は上らないのに、物價は騰貴して、資本家の懐は澎れる。資本家は之れを好景氣と謂ふが併し勞働者から見れば、其實收賃銀、卽ち得た賃銀で物を買得る力は却つて減少し、彼等の生活は以前よりも苦しくなつたと謂はねばならない。言葉を換れば、好景氣とは物價の騰貴によつて勞働者の懐から資本家に移る搾取が多くなつたことに外ならない、とも謂ふことが出來ないでもない。が併し全體として見れば、好景氣のときは矢張り勞働者の實入りもよい。失業や半失業的なブラ〲仕事の代りにミッチリよく働き得るのが原因の一つ、時間外勞働により收入の增加するのが原因の二である。此の外、局部的に見れば賃銀の引上げが物價の騰貴よりも更に大である職業もあらうが併し斯様な場合には、反對に賃銀の引上げが物價の騰貴よりも少い職業もあるのを常とする—否そうでなくては論理がなり立たない—から、全體的に見れば之れを一般的な好景氣の原因と見ることは出來ない。それは局部局な好景氣である。

果して然らば、吾々は、常によく働き得るやうな經濟狀態を維持し來れば、常に好景氣時代の如き豐な生活を營み得るのだ今日の經濟組織に於ては、それが戰爭、地震、大火其他の天災による財の積極的大破壞か、乃至は不景氣に由る財の消極的大破壞かに由つてのみ、始めて期待し得るに過ぎない。其の他の『常』の場合には、勞力や機械は遊ばされ『不景氣』の場合には更にそれが大仕掛になるのである。

何と不合理極まる經濟組織ではないか。併し、今日の經濟組織を善しと信じ切つてゐる人々には『そんな筈は全くない』のである。だから、そうした人々は、震災の結果好景氣が出現することは全く意外のことだ。大阪朝日新聞が震災直後名士の震災後の景氣觀を連載したが、大部分の所謂『名士』は『そんな筈はない』の意見であつた。併しいくら『そんな筈がない』と一流の經濟論を振廻しても『事實』には勝てない。矢つぱり景氣は出て來ることを歷史は示し、現在亦已に其徵候を現した。そうなると今度は『空景氣』『變態景氣』『投氣』と有らゆる難くせをつけて、責任を他に嫁しその景氣が本來の景氣ではないことを辯護するのである。丁度自分の娘を信じ切つてゐる親父が、其娘に虫のついた時『そんな筈がない』と否定しながら、愈々事實をつきつけられると、『そゝのかした奴がけしからん』『一時魔がさしたのだ』と責任を他に嫁して辯護するによく似てゐる。

【五】

今日の經濟組織からは、震災の結果好景氣が出ると謂ふことはまことに自然な出來事だ。決して變態でもなんでもない。變態だと考へねば吾々の合理性が承知しないとすれば、それは今日の經濟組織そのものが變態なのだ。

震災の結果世は好景氣になる？『若地震によりて景氣がよくなるものならば、國家隆昌の秘訣は家を燒き人を殺すにありと言はねばなるまい』此の感想は蓋し獨り大朝紙のみではあるまい。併しながら、それがあたりまへの事實なのだ!!

吾々はこれ迄、此の不合理なことに氣づくと、其の責任を、政府の政策や、商人や事業家の投機心になすり付けて『變態景氣』だと謂ふ名をつけて、吾々の良心を胡麻化して來たのだ。

併し注意せねばならないことは震災景氣とは、一部の人々が考へる如く財の破壞卽ち好景氣と謂ふことを意味するのではなくて、其の結果として、之を補ふために、『すべての人によく働く機會を與へる』から好景氣になるのだと謂ふことである。他の言葉で謂へば、好景氣とは卽ち人々がよく働くと謂ふことに外ならない。

果して然らば、以上を逆に謂へば、今日の經濟組織に於ては、すべての人々によく働く機

會の與へてないのを常態とするから、常には吾々は好景氣時代に享樂し得るやうな豐かな生活が出來ずに、慘めな生活を續けてゐる、と謂ふことになる。更に言葉を換ふれば、吾々はやり樣一つによつて、常に好景氣時代の如き豐かな生活が出來る筈であるのに、今日の經濟組織に缺陷があるために、さうした豐かな生活は例外的に、好景氣の際一寸享樂し得るのみで、他の多くの場合には慘めな生活を續けてゐると謂ふことに外ならない。

然らば、現在の經濟組織の何處に如何なる缺陷があるから、それ故に好景氣の場合の外吾々すべてのものがよく働く機會を得ずに慘めに生活せねばならないか。之れを改革する方法ありや否や。ありとせば其の方法如何。

思ふに、以上の如き問題は、旣述の如き震災景氣論の興味の中心から、必然に讀者の頭に湧いて來るに違ひない。併し、本文に於て私が目標とした處は、斯の如き問題を讀者に起させ得れば目的は足りるのである。茲には斯樣な問題に答ふる處迄は這入らない。が、結論だけを謂へば、吾々は今日の經濟組織を大に科學的に組み直すことによつて、少くとも、好景氣時代に於ける生活の豐かさは恒久的に享樂し得るのである。それは卽ち社會主義的經濟組織に於てである。

赤鞭

短信

北九州の地！誰が見たつて、工業地帶だ。黑ダイヤの豐富に出る處だ。其處には、惱みながらも、一歩一歩と勞働運動は堅實に歩み積けてゐる。農村に於ては、村から村へ、そして郡へと、急激に進展して、其れの防壓を主要目的としてゐる、警察犯處罰令も、糞喰への體だ。そうした烈しい運動の流れが入れ交つてゐる處へ、水平運動が、猛烈に、其の間を織つてゐる。かうした力ある三運動（新しい社會建設の要素となるべき）の處だけに、當局の干渉、壓迫も横暴をも通過して、最早、目茶苦茶と言ふより外に表現の語を見出し難い程だ。勞働演說會、農民大會は元より、水平運動演說會でも、チョンギリ方が甚しい。ある時の俺達の（水平社の演說會で、頑是無い、少年少女の小さい叫びまで『中止』の有樣。官憲が横暴だなんて言ふ方がほんとに最早野暮だ。一週間位い後の事。東邦電力堅粕製作所の勞働爭議が曲りなりに解決したので爭議團員が手打の宴をして居た。其の際官憲が踏みこんで、來たことから、毆り合を始めて、水平運動の鬪士で父較手農民組合長である近藤光氏、爭議團員全部、藤井、大塚の諸君が『職務執行妨害』てな名前で、暗い處へ放りまれた。そうし事件の後を靜かに考へる時、當局の奸妙な『利劍』の使方がハッキリ解るのだ。だが、こうしたできごとの起る度に俺達はます〳〵闘爭意識を强めると共に、三つの運動が依り深く擴がなつて行きつゝある事を意識する。（福岡　岩尾家貞）

奴隷よ立て

徳島水平社員　久島與志雄

僕の地方にも過去の悲しい運命を背負ひながら暗憺たる現實の生活に泣いてゐる少數同胞諸君の部落がある。

丁度今から三四ヶ月前の事、水平社の運動の意義を宣傳する爲に水平社本部の人が二三人やつて來た、然し不幸にして一人の共鳴者もなくやむなくその人々は歸つて行つた。

野良犬の樣に低腦で、小猿の樣に小賢い警察署長はその時、鼠々見出したやせ猫の如く得たり賢しと御用新聞に次の文句を發表した『本縣に於ける部落民の地位は旣に普通民のそれと何ら變らなくなつてゐる、水平社員がくるズット前から部落民は水平線上に浮び上つてゐる』と

然し諸君と共に僕たちはどうしてそんな馬鹿な文句を肯定しよう、たゞ本縣の少數同胞諸君は永年の奴隷生活と屈辱生活から彼らの正義に對する良心が少し麻痺してゐたのみだ、僕達は何りかざる所なくそれらの缺點を明かにせねばならぬだが、もうぢき、奴隷が醒めるべき時がくるのだ、そして重い鎖をたち切る時が來るのだそうだ、一切のブルジョア政策者の言葉が如何に無價値であるかが分る日を僕達兄弟は手をつなぎ合つて共に早めなければならぬ。眠れる奴隷よ、立て！

※　※　※

俺は左樣思つてゐたが、軍隊と言ふ所は軍閥の巣窟、無産青年の○○搾取せられるところ。いつも〳〵戰爭ごつこで多額な金を費つては人○す術ばかし練習してゐるところ——嫌な所だと思つてゐた　それが而し今度Xからの來信によつて軍隊と言ふ所は全然些かも好感をもてない所でない所になつたそれは何故かと言ふにXは年來の神經患み病弱その者であつた所が先年軍隊に入つて以來はグッと健康を回復してきて此の頃ではメキ〳〵體重も增したと言ふ同じ病身者の俺は他ではない男としてそのXの獲た『健康』が羨ましくてならないのだ。そうして、健康になつたら其處から敎へ込まれた術を以て

（高知竹中健）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會運動者と官憲の取締(二)

布施辰治

六、公安侵害者に非ず

次に當局の好まざる演説會に出入する者、或は主義者と手紙の往復を爲す者に關しても、亦憲法第廿九條に『日本國民は法律の範圍内に於て言論著作印行集會及結社の自由を有す』と規定されたる當然の精神から云ふて、國民は凡しの集會に出入するの自由を有する者であり、亦憲法第廿六條に信書の秘密を侵さるゝ事なき保證を受けて居るのであるから、何人に對する手紙の往復も自由でなければならず、憲法第二十二條に『日本國民は法律の範圍内に於て居住及移轉の自由を有す』との規定の存する以上、何處へ行かうと、誰と往復しやうと全く自由なるべき筈であります。然るに或種の演説會に屢々行くからと云ふて、之に對する人權蹂躙の要視察的取締を爲し、或は或主義者の訪問、手紙の往復を爲せりとの理由によつて、同樣の壓迫的取締を爲すが如きは、畢竟思想の自由、信教の秘密、居住及移轉の自由等に關する人權蹂躙であると私は考へるのであります

司法警察は、此處に一個の犯罪ありと信じたる時に、其の犯罪の事實を證明して刑を適用する公訴權行使の準備をする警察であります。されば既存の犯罪と云ふ事が、司法權活動の一大條件であつて、所謂要視察人としての黒表登錄は、如何に危險人物視さるゝ者だと云つても、また犯罪なき所に司法警察なく公訴權の活動なき處に司法警察なしと云ふのが原則であるから如何に考へても、社會運動者に對する警察官憲の取締り方は、之を以て司法警察なりやと云ふに大多數の人々は何等の考慮もなく、恰も高等行政案なるがの如く考へて居るかも知れませんが、一體、行政警察とは何んぞやと云ふ事を考ふれば、社會運動者に對して官憲の行ひつゝある現在の取締方法は、斷じて行政警察規則なりとは云ひ得ないと信じます。試みに、行政警察規則をひもさけば、其の第一條に『行政警察の趣意たる人民の凶害を豫防し安寧を保全するにあり』とありまして、一般人民の凶害たるべき事をやはり一般的に豫防して人民一般の幸福を助長し、安寧を保全すると云ふのが其の便命であります。同じ警察でも救助警察の樣なものになれば、一個人の生命を助ける爲に警察權の發動を見る場合もあります。亦司法警察は前述せるが如く或は特定の法益侵害に付いて、或る特定人の犯罪を檢擧し、或は證明する云ふ樣な事になつて居るが、所謂行政警察は、人民總般の凶害を豫防する爲に、人民總般に對して、其の警察權を行ふ豫防方法が行はるゝのであるから斷じて或る一個人に對する直接の自由侵害等を許さるべきものではないのであります。彼の行政執行法は法律其れ自體が人權蹂躙の爲に作られたものだと云はるゝ迄にヒドイ法律として、公安を害する虞あるものに對し、之れを豫防する爲め即ち公安の侵害を防ぐ爲に必要な時は、さうした公安侵害の虞ある特定人に對して、直接警察權の發動を見る事に爲つて居る所以のものは、やはり一般の行政警察としては、假令人民の凶害を豫防し、且人民の幸福を增進し、若しくば安寧を保全する爲なりと雖も、特定人に對する自由侵害の出來ないと云ふ行政警察の原則があるからであります。然るに問題の要視察人の黒表登錄は申すまでもなく特定人に對する自由侵害でありますから、之れを行政警察と稱することが出來ないと信じます況んや行政警察規則の第五條には次の如き任意的明文を掲げて居る。即ち『警察官吏は公共一般の穩安を計り一家隱微の小惡を發くべからず』とあります。之れによつて考へらるゝ行政警察は決して今日の社會運動者に對する警察官憲の取締に見るが如く、思想の壓迫、生活の破壞感情の殘賊等を顧みずして、一家隱微の小惡を發くのみか一種の危險人物を豫斷した中傷讒誣の出來る筈が無いのであります今日の警察官にして斯うした規則を見て居ないといふならば、即ち止むでありますが・現行の行政警察規則として立派に只今掲げたるが如き明文の存する以上、警察官講習所あたりで之を數へぬと云ふ事はあるまいし、亦如何なる警察法の講義や行政法の著書を見ても、行政警察の目的は只今私の擧げたやうな事になつて居るのでありますから斷じて社會運動に對して今日の如き方法を以て取締るべきものでないと信ずるのであります

七、斷じて不法の處置なり

故に私は、今日の官憲が彼の警官をして直接に社會運動者の取締りに任ぜしめて居る取締方は、一體何れ程の警察によるものなりやを聞き度いものであります。私の淺學か寡聞か不幸にして私は行政警察としても司法警察としても、此の如き行爲の適法なるを見出さないのであります。故に之に對する嚴正批判として社會運動者に對する黒表登錄の要視察的取締を編するならば、それは刑法上に於ける信用毀損である。營業妨害と云つても差支へないと信じます。刑法第二百三十三條には信用毀損

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に對する規定かあり「虚僞の風說を流布し又は僞計を用ひ人の信用を毀損し若くは其業務を妨害したる者は三年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處す」同じく第二百三十四條には「威力を用ひ人の業務を妨害したる者亦前條に同じ」とあつて、今日の官憲か社會運動者の心からなる弱者救濟の思念を目するに、社會秩序を攪亂する危險人物を以てするのは、明かに虚僞の風說を流布する者に當るのであります。亦私の知れる甚だしき一例として、次の樣な事があります。警官の無法なる檢束を加へたる事實を以て前科者なりと稱し、遂に其の人の愛妻を反かしめたのであるが、此の如きは僞計を用ゐて人の信用を毀損するものと云はねば爲りますまい。其の他、社會運動者を目するに、今にも何事か恐るべき謀數を仕出かす人物なるかの樣に云ひ振らし貸間の立退きや下宿の追立てを餘儀なくせしめるが如き事も家主等に對する信用毀損の結果として生じ來れる悲惨な事實であります。

　更に刑事巡查が一種の商賣屋に出入して、物品の購買に來る者に厭がらせの態度を示したり發言を放つたりして、自然其店を寂れしむるが如き營業妨害の事實もあるのでありますが、此の如きは警官の威力を用ゐて人の業務を妨害したるものと斷じてよろしいと思ふ。又刑法第百三十條によりますれば「故なく人の住居又は人の看守する邸宅建造物若しくは艦船に侵入し又は要求を受けて其場より退去せざる者は三年以下の懲役又は五十圓以下の罰金に處す」とありますが、人のいやがる所に何等の法律上の理由なくして煩い程訪問し、剩へ營業の邪魔をするまで長居するが如き事があるならば、而して其の訪れを迷惑として其の退去を望んで居る事が明らかなるに拘はらず、警官の威力を以て明白に其意思を發表し難き狀態に至らしむるならば、之れ亦内容的に見たる家宅侵入の罪ではあるまいかと思はれます。

　之を要するに、社會運動者に對する官憲取締の第一段として黑表に登錄する要視察は、何等法律に根據なき人權蹂躙なるのみならず、進んでは官憲の犯罪を構成するに至りはしないかを警察官の爲に御注意申上ぐる次第であります。

八、尾行卽ち間牒の役

社會運動者に對する官憲の取締として、第一段の要視察黑表登錄に次ぐものは、所謂尾行であります。尾行とは警察官が第一段の要視察黑表登錄の社會運動者に對する時々遠巻の視察丈では、其の取締を完ふし得ないと云ふ處から、常にそうした人物の行動を取締る個人監視制度であります。言ひ換へれば、時々遠巻の視察は、常にどんな事をして居るか、又は近くどんな人間を出入せしめて、どんな計畫を爲しつゝあるやも計り知れないと、行動を知り得ない處から、一層の事、個人監視專門の警察官を附き切に附けて置いて、社會運動者の行動一切を手に取る樣に明かにしたいと云ふのが、所謂尾行の目的であり、趣意であります。而して、其の形式は申す迄もなく、社會運動者に對する官憲取締りの憎まれ役を勤むる警察官が、尾行卽ち俗に云ふ間牒の役を勤むるものでありまして、毎日一定の時刻から社會運動者の家の出入口を擁して、其處に張り番を爲し、出入の者を誰何して之を記帳したり、或は毎朝當の本人の出掛ける時には、後から隨いて行つて、何處へ寄つたとか、誰れに會つたとか、そして何處に寄つた時どう云ふ話をしたと云ふ事が分れば、成るべく分る樣に、亦夫れが分らなければ、どれ丈けの時間話をして居つたと云ふ樣な事は勿論、途中で會つて挨拶した人の名前から其時の會話まで之を知らうとするのであります。併しながら、所謂尾行は文字通りの尾行でありますから、社會運動者の頭と頭で交通する行動の一切を探り知ると云ふ事が出來ない爲に、宛然犬が獲物を探る樣に、何處へ寄つて何を話したか、誰れと會つてどう云ふ相談をしたかを知らうとする事に務めるから、所謂犬と云ふ名前が出て來たか、どうかは分らないが、要するに、社會運動者に對する官憲の取締りとして、要視察黑表登錄に次ぐものは尾行であります。

　其處で、尾行といふ社會運動者に對する官憲取締りの善事か惡い事かを考へて見るのに、夫れは申すまでもなく惡い事でありまして、其の惡い事は、官憲自身も十分に承知して居るのでありますから、官憲要部長面の訓示とし、成るべく尾行せらるゝ者に知れない樣にと云ふ事に爲つて居るらしいのであります。けれども、事實上、本人に知れない樣な尾行の仕方では、到底尾行の目的を遂する事が出來ないから、現在に於ける尾行の遣方は、尾行せらるゝ者の處へ名乘つて出て此れから私があなたの尾行をする事に爲りましたからといふ挨拶をする如うな始末で、毎朝早く尾行せらるゝ者の宅へ押し掛けて行くのが通例の如うに開いて居ります。亦實際そうした關係から今日の尾行は、尾行せらるゝ者に馴染して、其の使役に甘んずると云ふ狀態に爲つて居るので、終には官憲の主人を社會運動者に取替へる改宗者もあると云ふ事であります。

　次ぎは、尾行警察官の人員ですが、少くも一人多きは六七人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に及び、現に大杉氏などには四人も附いて居たと云ふ事であります。尾行巡査の人員の多少は、所謂社會運動者の位置等級に據るものかどうかと云ふ内規までは分かり兼ねますけれども強ち無意味な尾行人員の配給ではなからうと信じます。

九、有害無効の取締り

先つ、尾行の意義及形式は、大體以上の如しとして、斯くの如き尾行と云ふ官憲の社會運動者に對する取締は、法律上如何なる根據に基くかと云ふのに、私の研究した處では、全然何等の法律的根據なき人權蹂躪であると考へます。何故に尾行が人權蹂躪であるかは、前きに第一段の要視察黒表登錄が人權蹂躪であると云ふ事を申述べたのでありますから、要視察黒表登錄視察以上に尾行せらるゝ者の迷惑であり、苦痛であり而も官權濫用の露骨なる點に於て尾行の人權蹂躪である事は更めて言ふを要しないと思ひますから此處では所謂尾行は果して如何なる法律上の根據を有するかを極むれば良ろしいのでありますが、大杉氏の傷害事件の際、立會檢事棚町氏が尾行に關する法令が明治七八年頃の太政官令にあるらしい事を云ひましたが、私の調査した處では間接にも直接にも尾行を許す如うな太政官令は絶對に無いと存じます。司法警察として尾行に法律根據の爲い事は、前きに要視察黒表登錄の視察取締りに法律的根據なき事を說いたと同樣の關係に於て全然無根據なりと信じます。司法警察の精神に於ても法文に於ても之を許しては居らない。夫れから行政警察としての、法律的證據があるかと云ふと、夫れも無いと信じます。只一つ憲兵職掌中、行政警察に關する事務規定第一條の四項に「國事に關する犯罪を未萠に搜索警防すること」と云ふ政治的危險を有する者の取締を有する者の取締に關する規定がありますけれども之を以て所謂尾行を是認するものと解し得ない事も、又法文自體甚だ明かであります。要するに尾行は司法警察としても行政警察としても其法律的根據は絶對に無いのであります。外に最も人權蹂躪的な規定として豫戒令と云ふものがあるのであるが、彼の位非道い法令にさへも尾行を許して居らないと云ふ事から考へても尾行を許す法律的根據は、絶對に無いと云つて宜しいと信じます。

其處で、今度は全然法律的根據のない尾行と云ふ方法に依つて、社會運動を窮屈に取締る事は、果して事實上有効なりやと云ふ事を考ふるに、本人の爲めには、有害にして無効であり、且つ國家に取つても無益にして有害なりと信じます。若事實上有効だとするならば、假令、法律的根據無くとも、私共は之を受け入れべきだと思ひますが、事實上に於ても、全然無効有害なりと云ふに至つては、尾行と云ふ社會運動者に對する官憲の取締を許して置く事が出來ないと思ふ

十　政權把握の爭霸戰

一體、斯の如き尾行制度は、之を他の一面から言へば、一種の個人監視制度でありますが、個人監視と云ふ制度の無効にして有害なる事は、舊刑法に個人監視制度のあつたのを新刑法に於て之を廢止した事に據つても分ると思ひます。又、今日の執行猶豫者に對する取締方を見ても、從來の如うに警察官憲からワザ／＼執行猶豫者の處へ行つて、監視する如うな事はして居らないのであります。政府から見れば、一種の危險人物注意人物と云ふ如ぅな見方をして居つても、夫れが一般人の間に相當に容れられて居る限り、官憲の方から彼等は危險人物なり、注意人物なりと云ふ事を知らせて折角、一般社會から信用を得て居るのを破壞する如うな事を仕ない事に努めて居るのであります。強るて現在にも個人監視制度があると云ふならば、夫れは所謂自動任意の監視制度とでも名付くべき關係に於て、監視せらるべき假出獄者が、官憲へ出て行くか、教悔師の處を訪問して、平生の生活振りを報告する如うにと云ふ事に爲つて居るのでありますから、尾行と云ふ社會運動者に對する官憲の取締りの如うに、非道い個人監視をするなどゝ云ふ事は今日の制度として絶對に有り得べからざる事だと思ひます。尚ほ之れに關聯して云ふべ事も多々ありますが要するに、私の研究に由る尾行と云ふ社會運動者に對する官憲の取締りは、形式的に不法であり、實質的に不當であり、結局人權蹂躪の甚だしきものだと信じます。私は前きに社會運動者に對する要視察黒表登錄の取締りが、思想の壓迫であり、感情の殘賊であり、營業の妨害であり、信用の毀損であると言ひましたが、當該法條の判例を見ると「威力」とは人の意思を制壓する勢力を指稱する義なれば、犯人が相手方に對して暴行脅迫を加へたる場合のみならず、犯人の喝恐又は位置權勢に因りて相手方を畏怖せしむるが如き場合をも指稱するものと解するを相當とす」とあり、且つ學說には「威力」とは凡て人の自由を抑壓する勢力を云ひ、暴行、脅迫、恐喝は勿論、地位、權勢、權利を濫用して人を畏怖する場合をも包含す、業務とは人が反復執行する經濟的事業を云ふ」とありますから黒表登錄ハ取締上に露骨な尾行は、當然同罪を構成するものと考へます。又、見樣に依つては所謂尾行と謂ふ文字通り他人の身邊に濫りに追隨して行く事は警察犯處罰令第一條第三十一號に當ると云ひ得やうと思ふ。（未完）

スペインに於けるブルジユア諸政黨

ジヤク、モーリン

（一）

スペインに於いての、封建制度から資本主義への進化はとにかく緩漫であつた工業の最もよく發達したのはカタロニア地方であつた。農業家と工業家と敵對軋轢が遂にカタロニアの分離運動の傾向を導く結果になつたのである。

歐洲戰爭はスペインの工業發展には非常に好い機會を與へ、そしてスペインのあらゆる社會的階級の關係勢力に大變動を來しめたのである。工業は益々勢力を增大して來た。一九一七年には、あたかも隆起的の現象を呈して　農業地主の勢力を掠め取るものゝ感を與へたのである

然しながら、新興プロレタリアの勢力の擡頭は、產工業家をして再び農業地主と或る了解を結ばしめる傾向を起さしめた。

この頃からスペインの產工業の發達進步に甚だしき遲延をもたらした。現在に於いてはスペインは充分に原料を製作品とすることが出來ないで工業原料を製作品と代ゆるために輸出してゐる。此頃ではカタロニアに於けら紡績業とビスカヤ地方に於ける鐵工業がスペインの主要產業である。然しスペインの工場の機械は、實に舊式のものばかりで、その製品は他の資本主義國のそれと比較することは思ひも及ばない。

斯かる狀態のもとに、スペインの工業は過重なる保護稅の援助のもとにやつと維持してゐる經濟的恐慌は遂に慢性病と化した。工業は保護關稅の不斷の引き上げを要求してゐる。勞働賃銀の切り下げと、八時間勞働制の撤癈を多くの主要工場に決行してさいも、この危機を救ふことは勿論出來ない。

スペインの農業はまだ封建的軌道を脫しかねてゐる。大農業の大部分はスペインの中部及び南部に於て行はれてゐる。これらの大地主は一〇〇〇スコーヤキロメ以上の土地を占領してゐるものもある。中產地主及び小作農は彼等の收穫の二分の一乃至三分一を大地主に納めてゐる專門的技術の點から見てもスペインの農業は甚だしく後れてゐる。そして保護關稅法によつてやつと保護してゐる。

（二）

地主の政治的勢力は保守黨と進步黨との二つに分裂されてゐる。國家が危機に面した時は常に保守黨は甚だしき抑壓政策を取つてをつた。この保守黨は一九世紀の末まではカノバス氏に依つて指導されてゐた。カノバスが例のアナキストのアンギリオ氏に殺害された後はモーラ氏がこれに首領としてあつた。然しモロッコ問題に彼れが失態して以來はモーラ氏は自黨に於いてすら甚だしく威力を失ふて來た。そして最近白色恐怖政治の責任者として有名になつたダトー氏か、保守黨の總理に擧げられた。彼も一九二一年の春三月九日にマドリット市に於てカサチラス氏（目下モスコーに亡命客としてゐる）に射殺されて以來は、この保守黨は數派に分裂してお互に暗鬪を續けてゐる。

モーラ氏が倒れて後は進步黨は自然に勢力を增大してカナレジアヌ氏が首相の位を占たのであつた。彼はその昔或る種の革命家とまで認められてゐたが、段々に溫和的になり、一度首相の位置に付くや甚だしく溫和なる政治家と化して來た。のみならず彼は勞働階級を抑壓するのである。で、事實に於ては進步黨も保守黨も何等の差異は認められない。そして政策に於いても同樣の立場で內閣組織の交代の際に於ける自黨の勢力爭鬪以外になにもないであるから、工業家の政治的勢、或はプロレタリアートの政治的勢力がもつと增大して、この平均を破るまでは、保守黨と進步黨とは常に合同して農業地主の利益のために努めるであらう。

カタロニアの產工業者の勢力を代表した政黨にカタロニア同盟なるものが旣に二十年の昔から存在してゐる。そして常にカタロニアの分離運動の原動力となつてあつた。然し經濟恐荒と白色恐怖政治とはカタロニア同盟をかつて遂に農業地主の政黨と結び付終つたのである。カタロニア同盟の利害は主として保護關稅と通商條約の改正であつたからであらう　このカタロニア同盟の指導者はカンボー氏である。そしてカンボー氏は現下のスペインでの最も聰明なるブルジユアー政治家でプロレタリアの最も恐ろしき敵である。そして今やカンボーの名は自然恐怖政治と切り離すことは出來ない。例のセイギ共產黨主義者の虐殺に關しても彼は道德的責任者である。

スペインの中部には共和黨なるものが相當に勢力を附隨して來たが、これはプロレタリアートの多數を含んでゐる。これは改良主義者が一九一二年に分裂した頃から樹立したものである　そして政良派の保守系の人々は今では國家主義者と提携してゐる。

また一時は愛國的國家論者のジエミス黨と云ふものが存在して、革命的の勞働者に對して甚だしく挑戰したものである。

以上の外に政黨として他の勢力の二三は存在してゐる。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ドイツブルジュアジーの最後の豫備軍

ア・タールハイマー

タールハイマーはドイツ共產黨の首領の一人でロシアのブハーリンと共に第三インターナショナルに於ける理論家としての花形である。

（一）

ストレーゼマン、ヒルファーデングの聯立內閣の成立以來既に二週間以上にもなつた。この聯立內閣はそれ自體がブルジュアジーの最後の豫備軍卽ちドイツに於て見い出し得る最後の立憲政府そのものである。ここを表示してゐる。

だがこの語句を餘りに文字通りに解釋してはならない、素外國の歴史的經驗に依つても或はドイツに於ける政治的諸勢力の現狀に照らして見ても、ブルジュアと社會黨の聯立內閣はブルジュア支配の最後の豫備軍ではあるが尙ストレゼマンヒルファーデング聯立內閣の後にも、他のブルジュアと社會黨合同內閣或は所謂『純社會黨』の合同內閣の成立の可能性、卽ち蓋然性を思料に入れておく必要がある

ロシアのケレンスキー時代との比較はこの問題には充分なる權威がある。ケレンスキー共和國の必死爭鬪時代の特徴と云ふべきものは確に內閣組織の急激なる變化閣員或は政黨の深慮なき更迭であつたでドイツのブルジュアジーは新しき內閣の成立或は閣員の交迭に依つて、次の革命的蜂起を壓倒する事は不可能事であると速斷することはあまりに輕卒である。ストレーゼマンもヒルファーデングも多分彼等はドイツブルジュアの手にある最後の番組であることには彼等自身で氣付いてゐるに相違ないが、尙は幾つかの聯立內閣の組織をくり返しであらう。そして彼等は『好ましからざる一閣員を烈しき積荷として海中に拋棄し、その代りに社會民主黨の反對派の首領例へばホールレヴエ、ダッチマン、クリスピン等を――若しこの交徹に依りて航海が續け得ることゝ信ずるならば――その破船に積込むであらう。

ブルジュアと社會黨との聯立內閣の成立の可能性は總て政治的進步――（この政治的進步は一般民衆をブルジュア及びブルジュア民主々義より裂離する）――に伴ふ民衆運動の速度如何に依つてゐる。

クノー內閣についでストレーゼマン、ヒルファーデング聯立內閣の成立が可能であつたと云ふ事實は『たとへ勞働階級の大多數が聯立內閣』に飽いてゐたと云ふ事が明らかであつたとしても、勞農政府の樹立のために戰鬪準備が出來てゐたのはた丶勞働階級の極めて少數であつたと云ふ事を最も雄辯に證明してゐる。勞農政府卽ちプロレタリア獨裁の第一歩は、勞働階級の絕對多數がブルジュアから分離するのみでなくブルジュアジーに對して戰鬪準備が全く出來あがつた時に於いて初めて實現し得る。次に、少くともペテブルジュアジーの强固なる部派の同情的中立と第三には大ブルジュアジーそれ自體に於いても深き龜裂を生ぜせしめる事が必要とされる。

組織上に於てはプロレタリヤの階級機關卽ち工場委員會、監理委員會等が充分に發達して大衆の間に支配權を彼等自身が確保しなければならない。改良主義の組織的態度はこれに先んじて崩碎すべきである。であるから總ての條件が勞働階級の勝利を掌握すに充分までに熟するには政治的にも組織的にも、そこにいくぶんの餘地がある。然らばこの歴史がそれを決定するためには幾莫の時日を必要とするか？。今やドイツに於ける勞働階級の勝利に對する諸條件は急速・熟しつゝあることは數千の事實に依つてこれが語られてゐた。

（二）

ストレゼマン、ヒルファーデング聯立內閣は改良主義者及職業組合の幹部の援助のもとに中產ブルジュアジーの企圖を具體的に表示してゐる。そしてルール爭擾の清算及び國內統一を決行するためには大ブルジュアジーに對して相當の犧牲を强要してゐる。如何なる政府でもドイツの根深き混沌狀態を一週間內に整理するの不可能であることは明白なことである。

然しながら、一週間は政府がその注意を正しき目標に向けてゐるか否か政府はそれに到達する丈けの强さをもつて居るか否かを判斷するには充分である。この點に付いてはストレーゼマンヒルファーデング聯立內閣に關する決定的の批判は、もう明言が出來る。

最初の第一歩として採るべきものは、マルク貨幣の交換を維持し尙ほまた通貨の新標準を確立するために、工業家及び銀行家から外國紙幣定限の公債を搾發する計畫である（外國紙幣爲替手形）を完全に全國的に沒收する事とに依つてのみこの目的を遂し得ることは甚だ明かの事柄である。然るに、政府は敢てこの手段を採らんともしないでそれは單に自發的の債券寄附をつのる位に制限したのであつた取引所はこの手續を絕對的に無益なるものとして極めて冷淡に見越してゐる。

外國紙幣の沒收は確に財政租稅の行政上の官僚的機關と衝突を招くであらう。それでこれはブルジュアーに取つてとても受け入れられない。（二九頁へ續）

先覺青年の任務

羽生三七

一

　過日我地に於て催された、清浦内閣倒潰、普選の即時斷行の示威運動、演説會は參加者數千名、實に峽谷に於ける一大盛觀であつた。然るに此示威運動、演説會の參加者の大部分が老人連であり、青年が僅かであつたと云ふことは、誠に不思議の感に堪へなかつたのである。

　他府縣に比較して、差して進歩の遲くないと言はれてゐる地方に於て此有樣なのだから、先づもつて他も押して知るべしと思つた。然もこれと同樣の現象を、私は他の一二の地方にも見た。

　この現象を人は何と見るのだらうか。それは青年の理想が進んでゐて、現在の政治を「ブルジョアの政治」として否定し去つてゐるからか、それとも政治的自覺が全然缺如してゐる爲かそれは明かに後者である。

現在の政治が「ブルジョアの政治」なのだから、無產階級の青年はそれに參加しないと云ふ立場から、青年の參加が老人連に比較して少數であつたと云ふなら、その青年の思想が正しからうと、正しくなからうと、兎に角多少の取り得はあるが、全然政治に對する理解を缺いてゐる爲から來る不參加であると云ふことを知る時、今更、現在の政治が如何にブルジョアに依つて毒されてゐるものであるかを痛感するのであつた。

二

　無產階級、及び無產青年に對して、參政權が拒否されてゐることは勿論であるが、青年はあらゆる機會に於て政治教育さへ受けることが出來ぬ。のみならず教師そのものが、既に政治に對して何等發言の自由を持つてゐない。「青年は政治に關與すべからず」と云ふ法則のもとに、今日までそれが殿堂に參與することは、若しくは教育を受けることさへも嚴重に拒否されてゐる。

　然もその政治を議する議會たるや、資本家階級が如何にして無產階級を搾取し、抑壓すべきかを決定する所である。然しその政治運動たるや、一群の資本家と、他の一群の資本家との政權爭奪に依つて終始してゐる。彼等ブルジョアが支配するものは、搾取と權力に對する慾望である。

　されば、斯の如く、政治に參與することと、及びその教育を拒否されてゐる青年が、政治に對して何等の興味を持たう筈が無い。然も青年は一家の經濟に直接當ることが少い。斯くして一般青年は頽廢的無氣力となり、政治そのもの、否、社會そのものに對しても從來の屈從的態度を固守してゐる。たまに各所に政治團體を見受けると思へば、資本家階級の手先となつて、「何々立憲青年黨」を氣取つてゐるに過ぎない。

　以上述べ來つた事實に照しても、青年は政治的に全く無自覺である。

　然し現任の政治が「ブルジョア的」であつても「政治」そのものがブルジョア的であると云ふ譯はあるまい。我々の經濟生活の上部構造を成すものが政治であり、支配階級から無產階級が徹底的に解放される爲には、政治組織と云ふ支配階級の城塞を衝くより他はない。近來無產階級の政治運動の叫ばれるもそれが爲である。されば無產階級解放運動の途上に於て、青年の政治的自覺が如何に重要であり尚當面の問題としても、我々がこれに向つて、努力しなければならぬことは、今更改めて言ふまでもない。

　從つて「進め」の言ふ「農村青年の政治的自覺」と云ふ言葉は、青年中の眼覺めたる前衛隊に呼びかける言葉でなければならぬ。

三

　さればその前衛隊は、あらゆる機會に於て一般青年大衆に政治的啓蒙を行はなければならぬが、それは一般無產階級大衆の政治運動を高潮することに依つて押し進められるものと思ふ。

　然し我等の政治運動は政黨者流の手先となることではない。それは堅い無產階級の陣營を築くことでなければならぬ。

　尚一般大衆の政治運動を高唱すると共に、青年それ自身が社會に占める、差別的地位（拒否されてゐる參政權）を說明し、これに對して青年としての憤起を催さねばならぬ。（完）

未來は青年のもの

　ドイツ革命に際し、吾等が愛する先輩リピグネヒトは絕叫した。「未來は青年に歸する」と。

　青年の力を集中することが、吾等の仕事の第一でなければならない。これを果すには、教育と訓練とが必要だ。教育とは戰鬪的教育でなければならない。訓練とても爭鬪的のそれでなければならない。この經驗を通つて吾等青年は、組織の力を必要とする。この力で鐵槌のそれの如く、がつちと、吾等を縛る環境の鎖を打やぶらねばならない。そして新しい世界を建設するのだ。この使命が「未來は青年の所有なり」と云ふ言葉の意味である。

　總てのものをハッキリと意識せしむるには、境遇が最も力をもつ。で見れば、この言葉の意味を充分に意識するものは、プロレタリアートの青年であるに相違ない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農民莊左衛門の刑死

R Y 生

（一）

この話を始めるに當つて、當時の情勢の一般を概略する必要がある。大成武鑑と云ふ書に記載する所に依ると。

木下大藏將俊、豐臣太閤に仕へて若狹の國に於て六萬二千石を領し小濱城に住す。天正十六年侍從に任じ、後に左少將に任ず。慶長五年故あり城地を沒收せられ、遁世して東山邊に閑居す。十三年、父家定卒後其遺領を勝俊及び弟利房に分ち給ふ。十四年九月遺領地を公收せらる。

とあり、歷史上にも有名な歌人長嘯子は この木下勝俊のことで、その歌集は『擧白集』と名づけられて、今日に傳つてゐる慶長二年六月丹波國大原野に於て、歲八十一にして卒すとある。更に木下家に次で若狹の領主となつた京極高次に就ては、同じく大成武鑑は次の如くに記してゐる。

京極高次、慶長五年八月大津城に籠り上方勢と戰ふ。其賞に依り所領を轉じて、若狹一箇國八萬五千餘石を領し、小濱城に住す。其後、寛永十一年、酒井讃岐守忠勝代りて小濱城主となり若狹の國を領す云々。

とある。そして農夫莊左衛門は、この京極家の末からかけて、酒井家初代の領主忠勝の時代に生きてゐた、民權の主張者であつた。更に當時の民俗史に依ると如何に常時の專制政時が、酷迫慘忍なものであつたを、明白に語つてゐる。その最初の一頁だけを拔萃してみやう。民俗氏の記者は云ふ。

抑も若狹國は土地の高低甚しく水田となすも灌漑の不便なるより畑地比較的に多く、自然大豆を產すること多き國柄なりければ前の領主木下勝俊の治世には、米納の代りに大豆の貢納を許され、米豆共に等差なく各四斗一苞の斛なりしが慶長五年木下氏故ありて本國の所領を沒收せられ京極侯代りて本國の領主となりてより、頓に小濱城を竹原村雲濱に築くこととなり殆ど十年許りにして家臣の邸宅等まで殘りなく成就してけり。其築城中は國中の村々より多くの人夫を課せられ百姓一同堪へがたくて既に他國へ退轉せしものさへ多かりき殊に其土木の爲め國帑を悉し經濟上にも太く困難を來せしより、俄に貢豆一苞を四斗五升入りに改め取立てらるゝ事となり其他種々なる名目の下に課稅せらるゝもの少からず、故に當時上下の困窮譬ふるに物なく別て貢豆增徵は藩民痛苦の關係いと深く百姓の難澁日に益々加はりぬ。茲に於いて苛政の怨聲漸く洩るゝに至り是非なく舊制に復され四斗苞に改められん事を哀訴するもの、屢なりしも京極家は德川將軍の姻戚にて威權をさ〳〵高く、且戰國の後の慣ひとて人民を撫恤休養するの情とては更になく兎角武斷的にて荒々しく……云々

と記載したこの民俗史記者の簡朴な筆に依つても、當時の大名と稱する專制政治家が、自己の野心慾望の爲めに、民衆の膏血を搾り盡くしても平然として、尚ほ軍國主義的思想の城砦に立籠つて、武斷政治の溶鑛爐中に勞農階級を突落してゐた狀態が鮮かに窺はれる。これに加ふるに自然の災害を以てしたから、若狹一國の農民は塗炭の苦しみに陥り、所謂國越ゐ（逃亡して他國へ移住する者）の徒を續出したので、領主京極は法を施いて國越ゐをなし又はこれを計劃する徒を死罪に處した。そこで農民は國に留まつて生きんとすれば苛税誅求で死に瀕し、生を求めて他國に赴かんとすれば刑死を以て脅される、結局は生ながらの地獄道に在つて搾取される限り搾取されて死を待つより他はなかつた。さうして寛永十年秋八月、若狹一帶は大洪水の爲めに田畑を荒し盡くされた。民俗史の記者は傳へて云ふ。「寛永十年八月、若狹出水、前代未聞と云ふ。同年、常高院江戸に沒し若州常高院に葬る。常高院は江州小谷城主淺井備前守長政の女、初子と名づく。京極高次の室となり高次卒して落髮し常高院と號す、慶長十九年大阪冬の陣に阿茶局、本多上野介等と共に淀君の内意を受けて和議を講ず」とあるから、その葬送に當つても、費用の莫大であつたことが思ひ遣られる。そして、その出費の出所は何處であつたかと云ふと、勿論それは領内の無產勞農民を誅求したものであつた。續いて翌寛永十一年酒井忠勝が新しく來つて領主となると同時に、小濱城に天主閣を築き松並木に植ゐ神社を修補するなど若狹一國の農民をして益々飢ゐしめた。

熱血兒松木莊左衛門は、この暴政に對する若狹の國二百五十二箇村の農民を代表して、時の領主酒井忠勝に向つて、抗議を突つける爲めに敢然として立上つた。史に傳ふる所に依ると、その時莊左衛門は僅かに十六歲で、身柄は若狹國遠敷郡新道村の庄屋役を勤めてゐたと記されてゐる。

（二）

僕に與へられた僅かの紙數のなかで、この莊左衛門の生涯を仔細に語り盡すには、餘りに困

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雜な仕事である。時は慶長十二年の秋――新領主酒井忠勝入國の翌年、前代未聞と云はれた大洪水に若狹一帶を流し盡された年の翌々年である――新道村の若庄屋として勞農民の間に親しまれてゐた、松木莊左衛門は遠敷村遠敷大明神社の境内（現在は國幣中社若狹彦神社として、遠敷村遠敷區の小學校前にある）に開いた若狹全國の無産農民大會の席上で、選ばれて他の二十餘人と共に最高點で全國二百五十二箇村の代表者として當選した。二十餘人の農民代表者は、遠敷大明神の神前で、相互に血を啜つてこの暴政の撤廢と全若狹勞農民の救濟のために一同は身命を賭して新領主酒井忠勝と闘ふことを申合はせた。

之れを三國誌の作者をして說かしめたならば「一金風颯々として、白雲飛び、將士、愴として驕らず。陣門、靜かなること林の如く、一騎直ちに城頭を指さんとす」とある所、專制政府を倒せ!! 全若狹勞農大會萬歲！と叫ぶ情景である。フィルム撮影技師なら、松木莊左衛門の顔を、絞り幕で見せる所である。

話は走馬燈のやうに飛んで行く、限定せられた紙數では止むを得ない。歎願書は直ちに起草せられ、莊左衛門以下二十餘名は秋霜を踏んで、決死の覺悟で農民大會の決議狀――即ち從來の四斗五升位を四斗位に減額の願書を懷中して、小濱城の大手御門に押寄せた。然し何時の世でも、さうである通り大手の門を固めた雜卒の輩ごもは、「牛馬にも等しき土民百姓の分際にて、歎願などゝは奇怪至極、以後領民ごもへの見せしめの爲めに、打ち据ゑて追ひ拂へ」と棒で追立てゝ、二十餘名の代表者を追ひ散らした。今日なら檢束拘留といふ所である。かくすること九ヶ年の間、押し寄せては追ひ拂はれ、また押し寄せては打ち据ゑられして爭鬪を繰返す間に、歲月は改まつて慶安元年の春は來た。莊左衛門も何時しか廿五年の春を迎へて、その年、更月の始め、農事はそろそろ忙がしくなりかけやうと云ふ、農繁期を前に控ゑて、代表の面々は、この春こそは否應なしに自分達の宿願を遂せずには置く可きかと、堅く申合せの上、郡代役所に押しかけ表門から二十餘名が、ひしひしと玄關へつめかけて、口々に農民困窮の狀を具に訴へ、懷中した歎願狀を取出して「兎にも角にも一應この訴狀の内容を被見せられたし」と莊左衛門が述べ立てるのを、終まで聞きもせず、「土百姓の分際で、よくのめのめと喋くる奴ばら。それ者供、此奴等に舌動かせずに、門から外へ堰き出せ」と郡役人の下知に、まるで「解散」の命令一下と同時に堰ぐる蹴けるの大活躍を示しながら檢束をする、演說會場の警官諸君のやうに、郡代役所の番人ごもは、餌食にありついた飢犬のやうに、二十餘人の農民代表者を、半殺しの目にあはせて襟頸つかんで往來を引擦り出した。

事件は――農民爭議は急に大團結に近づいた。莊左衛門はじめ廿餘名が、滿身の生傷を忍びながら悄然として村へ歸つて行く、一方郡代役所の使者は馳せて小濱城へ出頭し、莊左衛門一味の輩が、百姓の分際で御上の威光を恐れざる不屆きの行狀を領主忠勝の許まで報告したので「己れ憎き土民奴ら、引捕へて拷問にかけよ」と專制君主の獨裁ぶり鮮かに、鳴り物入りの曉の檢擧とやらもかくばかりに、組子の面々、村々を驅け廻つて廿餘名の代表者ごもを引捕へんと搜索した。今日なら自動車十數臺に分乘した高等係や檢事局の方々が、東京市の北郊や西郊に向つて疾驅すると云ふ、活動寫眞的の場面であり、また都下の各新聞通信記者連が、警視廳の御用振を發揮して、初號見出しで「不逞主義者の大陰謀大官暗殺の計劃發覺」とでも、素ばらしい大ヨタを飛ばせる所であるが、當時の民俗史家は、少くとも現代の新聞記者諸君よりも正直であり且つ藝術家であつた。傳へて云ふ所を取次げば

この時節、我家におりて世を思ふ心は庭に徂なす、千草百草やちくさに、亂れて池に鳴く蛙、繇も身に染む暮の春、八重九重に咲きき匂ふ、花も泥ごやなる身ざと、知らぬ白髮の母親の、前に侍りて何氣なく、日頃嗜める謠曲の「白妙に雲もかすみも、うづもれて、いづれ櫻の木末ぞと――」田村の謠かなでつゝ、興に入りたる其時しも、御諚に候ふ上意なりと、烈しき威喝の聲諸共、捕吏の足輕五六人ばらばらと飛び込みて、莊左衛門の前後を取巻き、繩ひきしごきてかけんとすれば、母親は驚き云々（中略）莊左衛門は慇かず「御繩頂戴せんこと勿論なれご、見らるゝ如く只今は老母の前に田村の謠曲うたひ興ずる折節なれば、中途に止まんは風情なし、哀些少の時を賜はりて、うたひさしたる謠曲の終る迄の御猶豫を願ふ」と、また謠ひ出す田村の曲『見わたせば八重一重げに九重の春の空、よもの山なみおのづから、時ぞと見ゆる景色かな／＼』……と謠ひも終らず、捕繩は莊左衛門にさつと投げかけられたのだ。

（三）

二十五の春に縛せられて、小濱城外の百牢の一室に嚴重に監禁せられ、拷問に次ぐに威喝、威喝に次ぐに懷柔と、さまざまに手をかへ品をかへして責め立てられること三年。その間血を啜つた同志二十餘人は、次から

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

次へと變心して、殘つたのは莊左衞門を頭に、玉井喜太夫、松宮小治郎太郎の三人だけ、獄窓からさし込む月の光りを仰いでは二百五十二箇村の農民の悲惱を忍び、粗末な板圍ひの隙間から吹き込む、寒風や吹雪に身を切るやうな思ひに、家に殘した老親妻子の身の上を偲びしては、生身を引裂かれる白洲の拷問に頑强、堪へて來た三人のうち、玉井喜太夫、松宮小治郎太夫の兩名もたうたう堪へ切れずに何時しか懷柔せられて、悔悟の誓文を差出して歸村を許されることになつた。殘る　松木莊左衞門のみとなつたが、彼はさうなつても最初の一念は飜へさなかつた。この願望のき、屆けられる迄は例へ白洲の砂上しこの骨が砂利となつても、二百五十二箇村ノ農民達の悲慘な生活には換へられぬと、何時までも自分の信念を持り、調べの席に呼び出される度に、從來の四斗五升苞みを四斗苞みに減額のこと、領内農村の疲弊、農民の窮狀を吐露し面を犯して藩政の誤れた理由をあけて堂々と論じ立てるので、司直の役人共も持て餘し遂に當時江戸に滯在中の忠勝に具申して、莊左衞門を磔刑に行ふことにしたのである。

時に承應元年五月十五日、領内日笠河原に於て、十字架上に縛られて左右の腹から頸へかけて斜十文字に突出す錆鎗の穗先を受けながら、一時餘りを苦しみ通して絶命したと、後世の史家は傳へてゐる。野には色づき熟した麥の穗、低く垂れて今年の秋の豐作を豫言してゐるやうであるが、しかし農村には頽廢の氣滿ちて、人々の顏色は深く憂ひの雲に閉されてゐるのだ農民運動の先驅者、無産階級の殉難者たる無名の一英雄は、時の特權階級の社會運動取締法案の直接行動に依つて路傍の犬の如くに殺されて終まつたのだ。

しかしながら彼の死を以て殉難した結果は、遂に四斗五升苞を四斗苞に減ずることができた。二百五十二箇村の勞農民は、莊左衞門の血に依つて救はれた。

現今、北陸線の敦賀驛から小濱線に乘換ねて、新平野驛で下車し、歩むこと半里にして當時の日笠河原に達する。廣濶たる田野の中に四五尺ばかり土の盛上つた塚が見ゐる。それが松木莊左衞門の血の滴りを吸つた地面で、磔刑の十字架の建てられた跡である。今では草茫々として、訪ねる人もなく荒廢するがまゝに任してある。

年代記を繙ると、神武紀元二三六一年慶長六年、後陽成帝の時、京極高次小濱に築く。更に後二十八年にして、二二九〇年寛永七年、明正帝の時、小濱常高寺を建つ。二二九三年、寛永十年、若狹大水前代未聞、常高院卒す。である。翌二二九四年寛永十一年、酒井忠勝入國、松並木を植ゆ、雲濱城天守閣成るとあつて松木莊左衞門の貢租減額運動は、この年から始まつたのだ。そして二三〇五年、正保二年、後光明帝の時、忠勝諸神社を修補す、翌三年、羽賀寺鐘樓成る。とあるが、この羽賀寺は眞言宗の名刹として、その本尊は現今では國寶の一に數へられてゐる。その後六年にして二三一二年、承應元年、松木長操刑せらる。と記載されてゐる。長操は卽ち莊左衞門である。（終）

（廿五頁より續く）だからブルジュアーと社會黨のいかなる聯立内閣に依つてもこのことは考へらるべきでない。外國貿易物價調節に付いても同樣である。租税改良に付いては政府は鳴り物入りの宣傳をなしてはゐるが、それも既に死んだも同樣の體である。

ルール問題の解決の如何はドイツがポアンカレーに支拂ふべき必要だけの辨償金を、ブルジュアージーに依つてか、將亦勞働階級に依つてなさるべきかの試圖に懸つてゐる。

ドイツ政府はこの金額をブルジュアジーからは決して收奪はしないだろう。それで、それを勞働階級から、專ら搾り取るためには自然保守的右翼派の獨裁政治を必要としてゐる。然しながら善いか惡いかにかゝはらずこの破産してゐる世界にそれはなんらの成功を望まれないことは、明かな事である。

この賃銀は下落し物質は甚だしく騰貴し通貨は知らずに墜落しつゝある。

大衆運動の次の波は既に起り始めたドイツブルジュアジーの『最後の豫備軍』は去るこの二週間に於いて既に崩破の兆を示してゐる。

龜井戸事件犧牲者の遺族見舞金寄附者芳名

金五圓	杉森孝次郎氏
金一圓	香里秀夫氏
金二圓	深見　澤氏
金一圓	佐藤光敏氏
金二圓	宮尾濟六氏
金一圓	山代吉宗氏
金一圓	田中長三郎氏
金一圓	小松竹松氏
金二十錢	難波孝吉氏
金一圓	上西基次郎氏
金五十錢	高木豐太郎氏
金四十錢	無　名氏
金十錢	岩尾　定氏
金十四錢	飯澤貞一氏
金三圓	朝鮮　関泰興氏
金一圓	向井熊一氏
金一圓	高住慶一氏
金二圓	門口藤次郎氏
金二圓	田村豐助氏
金五十錢	永井波舟氏
金一圓	趙　東勝氏
金五圓	伊藤　繁氏
金一圓	澤井治作氏

計　三十二圓八十四錢

この金は三月號出版と同時に東京芝三田四國町日本勞働總同盟に納めました

二月二十五日

進め社

編輯室より

▼清浦內閣は御多分にもれず思想善導を大々的にゴ計劃されて居ると、此頃も各宗派の神官や僧侶を一堂に集めて、思想の善導方針を定めたとの事だ。且て床次が、浪華節や講談本で、思想善導を夢みられたが、其の結果が震災後の自警團とか云ふ連中の暴擧を導いたのには與つて力あつたらしい。そんな結果では、怖ろしいとあつて此度の清浦はやはらかい寛辭師の僧侶神官にお賴みあつたとの事だが、何が結果するだらうか。

▼マルクスは云つて居る。宗敎は人民のアヘンだと。

▼日本の勞働運動も幾多の苦難と、苦しき爭鬪等を經て、本當の根強い實際的な途に進んできたらしい。日本の勞働組合の猛者連が國際聯盟の世界勞働會議を、その本質を充分に吟味し、それの有効能力を充分算へた上に、これを認めて利用せんとする策に出たことは、愼に見上げた策戰である。

▼自己或は自己の團体の終局の目的が異なるの理由を以て、凡ての機會を見のがして、拱手傍觀するは、之は餘り聰明なるものではなくて、無能と云ふに近いだらうでも、一定の主張と目的を常に堂々と高唱すべきは勿論である。

▼震災のドサクサまぎれに敵のため慘忍なる横死を遂げた吾々の「尊き犧牲者」の葬儀も二月十七日ヤットのことで終了された。吾等はこれ等の犧牲を無益に過すことは出來ない。

▼英國の勞働黨內閣は、組閣以來仲々思ひ切つた社會政策の遂行をやり初めた。印度の救世主と歎はれたガンジーも保釋されたらしい。

▼日露問題が相變らずゴタゴタして居る。高利貸より實慾で、お先の暗黑な日本の貴族が何んでロシアのプロレタリアとの國際的平和手段の外交政策が了解せられる筈はない。ロシアの民衆は、どんなに日本の爲政者から迫害と蔑侮を受けたでせう。でも、過ぎ去つた事は問題にしないで、目下の立場で對等的の條約開始を彼等は要求して居るのだ。それを愚にもつかぬ理由で拒絶して居るとは何んと云ふ橫暴なる無智さ加減の事よ。

▼ロシアの民衆が日本の震災のための罹災者に同情して、人道的な立場から、思ひ切つた利權讓與と云ふ救濟方法を提供したのだが日本の政府は、實業家に下さるものなら頂戴しませうが、貧乏人に下さる物なら御免だと拒絶した相だ。

▼同じ穴の四つの貉族が護憲運動等と云ふ立派な看板で、見るも聞くも淺ましい樣な爭鬪をお互ではする色もなくお互に明るみに出し合つて居る。政權參與權のない吾々プロレタリアートは日本の民衆の爲めに、早く汚れのないプロレタリアトの政治團體の組織を普選施行等を待たずに、今の內に實現したいものだ。これが緊急の問題ではないか。

▼一犬吠ゆれば萬犬これに應ずると云ふたとへの通り、噂はうるさくて困る。火の無い所に煙立たずとは云ふか、立場の異つた二つの對立、ブルヂュアーヴーとプロレタリアートとの戰場に吾等が進み出て居ることを忘れてはならぬ。ブルヂュアーの新聞や、警官の宣傳を眞に受ける程の幼稚さ加減では困る。敵の機關紙を眞に受けて信じる樣では、其の人の氣分は兎に角戰爭して居るつもりではないであらう。

▼折角努力してまづい乍も編輯した二月號は二十二日に內務省から發賣禁止された。今では仕方なく服する外はない。それで三月號は大急ぎで其のうめあはせをする爲めにはかに原稿締切を繰り上げたので特別號の編輯は中止した。こう云ふ事情の下に三月號が發刊された事を了されたい。

▼進めの編輯を締切つてから、同士先輩の原稿がやつと私等の手に入つたのもある、それ等は次號にのせるつもりです。

▼進めの編輯は山出し者ばかりでやつて居るのだから讀者諸兄、同志先覺諸君は大いに援助叱正して大きい運動と云ふ立場に此の雜誌を最も有効に利用して貰いたいのが私等の希望であります。

▼私の恩師であり、吾々の先覺である片山潜さんは今後每號寄稿することを約されました。が、遠い外國に居るので間に合はぬ事もあらうが、どうかして每號載せたいものだ。

▼日本の科學的社會主義の輸入者は彼片山であつた。日本で勞働組合の最初のものは又片山が組織したのだ。今年六十七才の彼は、益々旺盛に吾等を指導のために働いて居ると云ふ事を聞いて嬉しくてならぬ。(田口)

▲**進め社演說會**　三月八日午后六時天王寺公開堂に於て開催の筈

會計係より

●「進め」の數ある特徵の一つとして定價の安いと云ふ事は定評のある事だ。然るにこの「安い」と云ふ事を逆用して「一部たつた十錢位だから一冊や二冊はどうでもよいんだらう」と云ふやうなわけで「進め」は常にたゞで貰へるやうに思はれては困る。本社の同人は身も骨も削れるやうな思ひをして努力し雜誌を安く出してゐるのだ。本社ではそんな妙なことを云ふ人に對して「たつた十錢位の金たもの拂つてくれてもいいぢやないか」と云ひかへしてやる。尙每度乍ら會計係の希望條項として左の通りのことは斷つて置く。

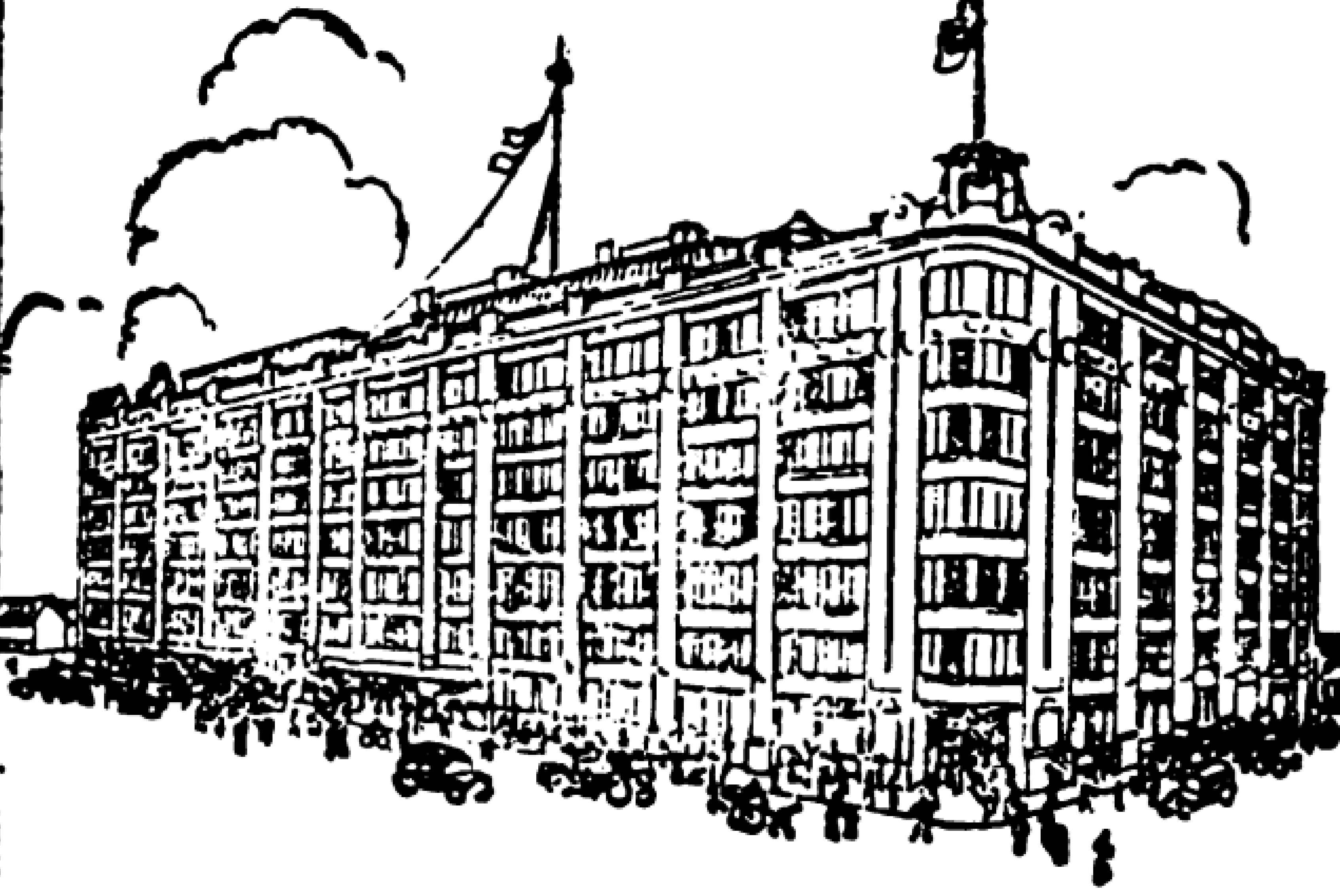
一、誌代に關する問合せ、雜誌注文に際して必ず傍書に會計係と附する事。
二、會計用は一切個人宛にせぬ事
三、本誌は集金郵便を一切取扱はぬ事を承知して貰ひたい。
四、「進め」誌代と他雜誌の誌代とを一諸に送り他社に殘金は送つてくれと云ふやうな注文は一切取扱はぬ事。
五、住所氏名は明瞭に書く事。
六、見本注文の方には一部は注文に應ずる。
七、誌代拂込は可成振替にして振替の都合惡き時は五厘及一錢五厘の切手を用ふる事。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

服部時計店

歐米時計類
眼鏡双眼鏡
測量諸器械
プラチナ地金
精工舎時計
ダイヤモンド
紀念盃徽章
寶石指環類
各種裝身具

東京銀座二丁目



三つの優越點と三つの誇りと

三越の商品は、品質の優良と、量の正確と、そして値段の低廉といふ三つのいつも變らぬ優越した點を持つてをりますのみならず、常に斬新と、實用と、趣味の三つの特長を誇りと致してをります。何卒十分御吟味の上多少に拘らず御用命の程偏に希上げます。

◇地方よりの御註文は御手紙にて「通信販賣部」宛に願ひます。叮嚀迅速に御調進申上げます。

大阪 三越呉服店

產前產後
血の道
引風、冷込
等に特効有

▲全國到處に販賣す

婦人良藥 喜谷實母散

本舖 東京市京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門

金、銀
白金

東京市神田區松田町
德力本店

社會主義
社會問題
勞働問題
婦人問題

圖書雜誌販賣

本店 神戸市湊川町二丁目十六番地
上西書店
上西一郎
支店 神戸市湊川公園前百貨店前廿一號

鐘淵紡績株式會社

本社 東京府隅田村
支店 兵庫東尻池

仁は人の安宅なり

消化と

毒けし

義は人の正路なり

▲御進物に一番重寶、大阪京都東京各店共通

高島屋の商品券

◎鰹節券◎銘茶券◎御菓子券◎小口商品券

高島屋

資本金壹億圓　所有船舶百三十六隻

拂込資本六千二百五十萬圓　總噸數四十五萬噸

積立金五千萬圓　營業航路五十線

本社　大阪市北區富島町

大阪商船株式會社

内外主要定期航路

日本歐州線　日本瓜哇線

北米タコマ線　基隆新嘉坡線

紐育線　瓜哇盤谷線

南阿南米線　神戸基隆線

日本孟買線　大阪大連線

日本濠州線　大阪天津線

日本甲谷陀線　大阪青島線

敦賀浦鹽線

大阪別府線

上記各線の外日本西部朝鮮臺灣南清沿岸に數十の定期航路を有す

The su-su-me. A socialist's manthly.
Responsible Ebitor Uuzo Taguchi. Propreitor K.Fukuda.
Head office Taikai-cho Nishinoda Osaka

忽再版

プレハノフ氏原著
法學士河野密氏譯

社會主義及無政府主義論

定價一圓九十錢　四六版美裝

レニンの師プレハノフ氏の傑作、既に各國に飜譯せらる、今日本に於て初めて河野氏に譯さる、譯語適切、行文流麗、未だ此書を讀まざる者は社會主義を談ずるに足らず、敢て同志に薦む。

最新刊

山川均氏著

井の中より見た日本

四六版箱入　凾表裝美本　定價一圓七十錢

大平洋と日本海の荒浪の中に忽然として漂つて居る島嶼國へ、その一角から、人類愛の血潮に燃え、改造への歩を運びつゝ、常に怠りなき凝視の眼をもつて下さる一刀兩斷の批判である。一面は醜惡非道にして、しかも一面には皮肉あり冷笑あり警句ありて集れる十數篇の井の中より見たる日本への論説こそ我邦唯一の論客たる著者が大論文集であり、眞に現在の日本を知らんとする者には必讀座右の銘であると思惟して敢て同業の士に勸む。

最新刊

カール。デ井ール氏原著
同志社大學教授法學士波多野鼎氏譯

社會思想と社會運動

四六版　凾入絹裝　定價貳圓七拾錢

原著名は題して「社會主義、共産主義、無政府主義」と言ふ、著者は獨逸の大學に社會主義を講じ共産主義を談じ無政府主義を講ずる事十數年、温行篤學の士として名あり、譯者又我邦少壯社會思想家として而かも文筆の士として名あれば譯語流暢たり、加ふるに本書は夙に慶應大學の教科書として用ひられ現に同志社大學の教科書たり、眞にこの三主義を知り、而して批評せむとする者は先ず本書を讀まざるべからず、讀まずして論斷するは眞に愚者に近し、目なくして險路を走るに似たる恐れあり。

發行所　更生閣　吉田書店
京都市平野町大秋町一番地
振替大阪六九〇八三番

注意　注文の際進めにて見し旨を必ず附記されたし。

月刊　**政治運動**　四月創刊（一部十錢）
東京市外高田町二三一　政治運動社　振替東京六六六一五番
布施辰治、淺沼稻次郎、稲村隆一、黒田壽男、三輪一男、三宅正一、平野力三

月刊　**勞働**（一部五錢）
東京芝區三田四國町　日本勞働總同盟本部
總同盟機關紙

月刊　**農民運動**（一部十錢）
東京府下日暮里町日暮里三九一　農民運動社
同人　稲村隆一、森崎源吉、平野學、浦田武雄

月刊　**第一線**（一部十五錢）
長野縣下伊那郡上飯田村四六一七　第一線社
同人　羽生三七、林武雄、宮島義治、安藤重一

半月刊　**勞働者新聞**（一部五錢）
大阪市北區西野田江成町　勞働者新聞社
日本勞働總同盟關西同盟會機關紙

月刊　**青年運動**（一部十錢）
東京市外池袋九三〇　建設者同盟本部
同人　淺沼稻次郎、三宅正一、高津渡

月刊　**土地と自由**（一部十錢）
神戸市北本町六丁目二三〇　土地と自由社
杉山元治郎、安藤國松、行政長藏

月刊　**「選民」**（一部五錢）
事務所　大阪市南區西清北通三丁目　選民社
全國水平社青年同盟機關紙

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN